

マルチメディアプロジェクター

形名 **XG-PH50X**

形名 **XG-PH50X-N**

セットアップガイド

スクリーンを設置する	2	・デフォルトゲートウェイの設定 ([3]Default Gateway)	33
画面サイズと投映距離	3	・ユーザー名の設定 ([4]User Name)	34
本体のコネクターのピン配置	10	・パスワードの設定 ([5>Password)	34
RS-232C仕様とコマンド	12	・RS-232C ボーレートの設定 ([6]RS-232C Baud Rate)	34
本機のネットワーク設定をする	17	・プロジェクター名の設定 ([7]Projector Name)	34
・設定1.本機とコンピュータを接続する	18	・全ての接続を切断する ([D]Disconnect All) ...	35
・設定2.コンピュータのIPアドレスを設定する ...	19	・上級者向けのメニューに移動する ([A]Advanced Setup)	35
・設定3.本機のネットワーク設定をする	21	・自動ログアウト時間の設定 (ADVANCED [1]Auto Logout Time)	35
本機をLAN経由で制御する	23	・データポート番号の設定 (ADVANCED[2]Data Port)	35
・Internet Explorer (バージョン5.0以降) でコントロールする	23	・ネットワークピングテストを行う (ADVANCED[5]Network Ping Test)	36
・本機の状態を確認する (ステータス)	24	・許可するIPアドレスの設定 (ADVANCED[6]Accept IP Addr(1)-[8]Accept IP Addr(3))....	36
・本機をコントロールする (コントロール)	24	・全てのIPアドレスを許可する (ADVANCED[9]Accept All IP Addr) ...	36
・本機を設定/調整する (設定/調整)	25	・検索用ポート番号の設定 (ADVANCED[0]Search Port)	37
・セキュリティの設定をする (ネットワーク-セキュリティ)	25	・初期設定値に戻す (ADVANCED[1]Restore Default Setting) ...	37
・ネットワークの一般的な設定をする (ネットワーク-一般設定)	26	・メインの設定メニューに戻す (ADVANCED[Q]Return to Main Menu)	37
・エラー発生時にメールを送信するための 設定をする (メール-発信元設定)	26	スタック投映	38
・エラー発生時にメールを送信するアドレスと エラー項目を設定する (メール-通知先設定)	27	・スタック投映の設置手順	39
RS-232CまたはTelnet経由で		ビデオウォール投映	41
本機を設定する	28	・ビデオウォール投映の設置手順 基本編	42
・RS-232C経由で接続する場合	28	・水平および垂直位置を微調整するには	44
・Telnet経由で接続する場合	29	・ビデオウォールの設定をリセットするには ...	44
・設定メニュー画面 (メインメニュー)	30	・ビデオウォール設定による プロジェクター画像の割り当て	44
・上級者向けメニュー画面	30	・ワイドビデオウォールの設定と注意	45
RS-232CまたはTelnet経由で		・ビデオウォール投映の設置手順 応用編	46
本機を制御する	31	困ったときは	50
・設定内容一覧を見る ([V]View All Setting)	31	寸法図	53
・項目を設定する	31		
・設定を保存して終了する ([S]Save & Quit) ...	32		
・設定を保存せずに終了する ([Q]Quit Unchanged)	32		
・IPアドレスの設定 ([1]IP Address)	33		
・サブネットマスクの設定 ([2]Subnet Mask) ...	33		

スクリーンを設置する

スクリーンの設置のしかた

プロジェクターを水平な状態にして(アジャスターを使わない状態)、スクリーンに対して垂直に設置してください。この状態で最良の映像が得られます。

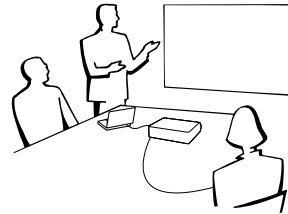


メモ

- プロジェクターのレンズがスクリーンの中心(水平方向)にくるように設置してください。レンズの中心を通る水平ラインが、スクリーンに対して垂直になっていないと、映像が歪んで見にくくなります。
- スクリーンを直射日光や照明の光のあたる場所に設置しないでください。スクリーンに直接あたる光で画面が白っぽくなり、見にくくなります。明るい光が入る部屋では、カーテンを引いて、照明を暗くしてください。

基本的な設置(前面からの投映)

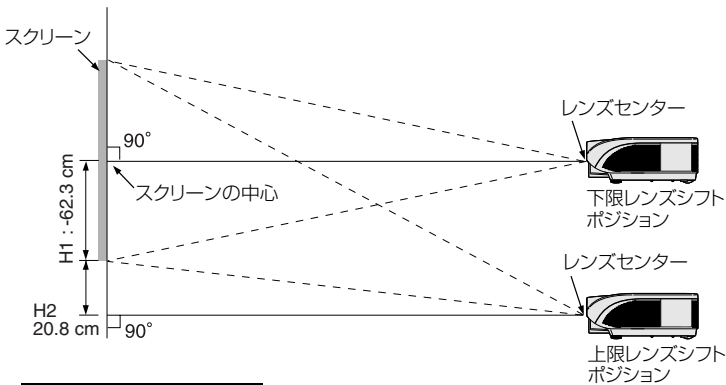
- 投映したい画面サイズに合わせて、スクリーンから必要な距離をとってプロジェクターを設置してください。



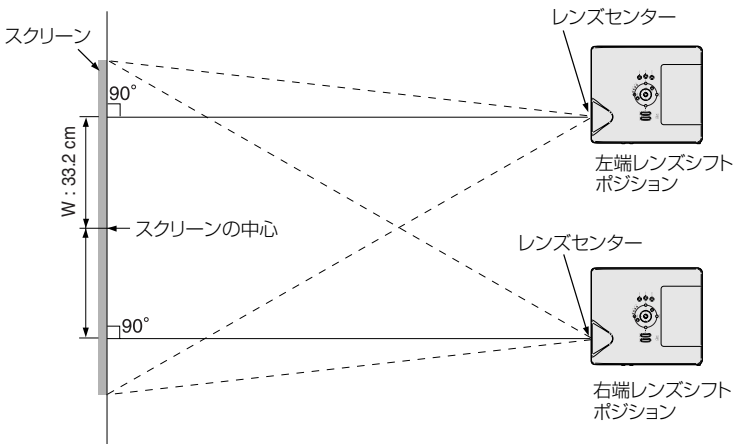
基本設置例

例: 画面サイズ: 100型 16:9 スクイーズモード(標準ズームレンズ装着時)

横から見たとき



上から見たとき



- スクリーンからプロジェクターまでの距離は、スクリーンの大きさによって変わります。
- スクリーンの正面にプロジェクターを設置する場合は、工場出荷時の設定のままでも投映できます。投映した画面の左右が反転している場合は、「投映方式」メニューで、「フロント」に設定し直してください。(プロジェクターの取扱説明書84ページをご覧ください。)
- レンズの中心を通る水平ラインが、スクリーンに対して垂直になるように、プロジェクターを設置してください。

画面サイズと投映距離

本機のレンズからスクリーンまでの距離により投映画面サイズが異なります。

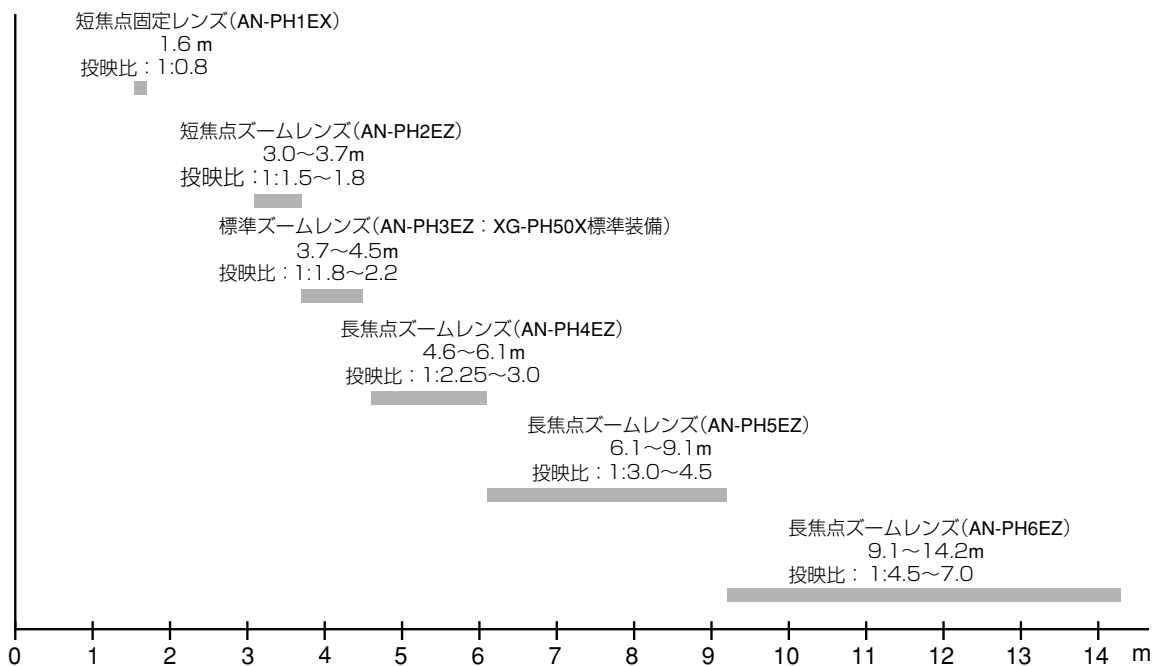
いろいろな用途にあわせた別売レンズがあります。別売レンズのご購入や取り付けは、販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。(レンズ使用時には、レンズに付属の取扱説明書をご覧ください。)レンズの交換はサービスマンが行います。

表を参考に、スクリーンに映像が最適な大きさに投映されるように設置してください。

値は設置の目安にしてください。

投映距離 (4:3 標準モードの100型画面投映時)

スクリーン



画面サイズと投映距離

標準ズームレンズ (AN-PH3EZ:XG-PH50X標準装備)

F1.8～F2.0、f=25.6～31.3mm

4：3ズームモード (コンピュータ入力時は、標準モードとなります。)

画面サイズ			投映距離 (L)		レンズセンター位置から画面の最下端までの距離 (H)		レンズセンター位置から画面の中心までの距離 (W)
対角 (型)	幅 (m)	高さ (m)	L1:最短	L2:最長	H1:下限	H2:上限	
300	6.1	4.6	11.0	13.4	-228.6	0	±91.4
250	5.1	3.8	9.1	11.2	-190.5	0	±76.2
200	4.1	3.0	7.3	8.9	-152.4	0	±61.0
150	3.0	2.3	5.5	6.7	-114.3	0	±45.7
100	2.0	1.5	3.7	4.5	-76.2	0	±30.5
84	1.7	1.3	3.1	3.8	-64.0	0	±25.6
80	1.6	1.2	2.9	3.6	-61.0	0	±24.4
72	1.5	1.1	2.6	3.2	-54.9	0	±21.9
70	1.4	1.1	2.6	3.1	-53.3	0	±21.3
60	1.2	0.9	2.2	2.7	-45.7	0	±18.3
40	0.8	0.6	1.5	1.8	-30.5	0	±12.2

x : 画面サイズ (型)

L : 投映距離 (m)

L1 : 最短投映距離

L2 : 最長投映距離

H : レンズセンター位置から画面の最下端までの距離 (cm)

W : レンズセンター位置から画面の中心までの距離 (cm)

画面サイズと投映距離の近似式

$L1=0.03658x$

$L2=0.0447x$

$H1=-0.762x$

$W=\pm 0.3048x$

16：9スクイーズモード

画面サイズ			投映距離 (L)		レンズセンター位置から画面の最下端までの距離 (H)		レンズセンター位置から画面の中心までの距離 (W)
対角 (型)	幅 (m)	高さ (m)	L1:最短	L2:最長	H1:下限	H2:上限	
225	5.0	2.8	9.0	11.0	-140.1	46.7	±74.7
200	4.4	2.5	8.0	9.7	-124.5	41.5	±66.4
150	3.3	1.9	6.0	7.3	-93.4	31.1	±49.8
133	2.9	1.7	5.3	6.5	-82.8	27.6	±44.2
106	2.3	1.3	4.2	5.2	-66.0	22.0	±35.2
100	2.2	1.2	4.0	4.9	-62.3	20.8	±33.2
92	2.0	1.1	3.7	4.5	-57.3	19.1	±30.6
84	1.9	1.0	3.3	4.1	-52.3	17.4	±27.9
72	1.6	0.9	2.9	3.5	-44.8	14.9	±23.9
60	1.3	0.7	2.4	2.9	-37.4	12.5	±19.9
40	0.9	0.5	1.6	1.9	-24.9	8.3	±13.3

x : 画面サイズ (型)

L : 投映距離 (m)

L1 : 最短投映距離

L2 : 最長投映距離

H : レンズセンター位置から画面の最下端までの距離 (cm)

W : レンズセンター位置から画面の中心までの距離 (cm)

画面サイズと投映距離の近似式

$L1=0.03985x$

$L2=0.0487x$

$H1=-0.62263x$

$H2=0.20754x$

$W=\pm 0.33207x$



メモ

- 上記の近似式には±3%の誤差があります。
- 表中に“-” (マイナス記号) がついた値はレンズセンターからの直線距離がスクリーンより下になることを示しています。

短焦点固定レンズ (AN-PH1EX)

F2.5、f=11.6mm

4：3ズームモード（コンピュータ入力時は、標準モードとなります。）

画面サイズ			投映距離 L	レンズセンター位置から 画面の最下端までの距離 (H)		レンズセンター位置から 画面の中心までの距離 (W)
対角 (型)	幅 (m)	高さ (m)		H1:下限	H2:上限	
150	3.0	2.3	2.4	-114.3	-73.2	±33.5
100	2.0	1.5	1.6	-76.2	-48.8	±22.4
84	1.7	1.3	1.4	-64.0	-41.0	±18.8
80	1.6	1.2	1.3	-61.0	-39.0	±17.9

x : 画面サイズ (型)

L : 投映距離 (m)

H : レンズセンター位置から画面の最下端までの距離 (cm)

W : レンズセンター位置から画面の中心までの距離 (cm)

画面サイズと投映距離の近似式

 $L=0.01626x$ $H1=-0.762x$ $H2=-0.48768x$ $W=\pm 0.22352x$

16：9スクイーズモード

画面サイズ			投映距離 L	レンズセンター位置から 画面の最下端までの距離 (H)		レンズセンター位置から 画面の中心までの距離 (W)
対角 (型)	幅 (m)	高さ (m)		H1:下限	H2:上限	
133	2.9	1.7	2.4	-82.8	-43.1	±32.4
106	2.3	1.3	1.9	-66.0	-34.3	±25.8
100	2.2	1.2	1.8	-62.3	-32.4	±24.4
92	2.0	1.1	1.6	-57.3	-29.8	±22.4
84	1.9	1.0	1.5	-52.3	-27.2	±20.5
72	1.6	0.9	1.3	-44.8	-23.3	±17.5

x : 画面サイズ (型)

L : 投映距離 (m)

H : レンズセンター位置から画面の最下端までの距離 (cm)

W : レンズセンター位置から画面の中心までの距離 (cm)

画面サイズと投映距離の近似式

 $L=0.01771x$ $H1=-0.62263x$ $H2=-0.32377x$ $W=\pm 0.24352x$ 

メモ

- 上記の近似式には±3%の誤差があります。
- 表中に“-”（マイナス記号）がついた値はレンズセンターからの直線距離がスクリーンより下になることを示しています。

画面サイズと投映距離

短焦点ズームレンズ (AN-PH2EZ)

F2.5、f=21.2～25.8mm

4：3ズームモード（コンピュータ入力時は、標準モードとなります。）

画面サイズ			投映距離(L)		レンズセンター位置から画面の最下端までの距離(H)		レンズセンター位置から画面の中心までの距離(W)
対角(型)	幅(m)	高さ(m)	L1:最短	L2:最長	H1:下限	H2:上限	
250	5.1	3.8	7.6	9.1	-190.5	0	±76.2
200	4.1	3.0	6.1	7.3	-152.4	0	±61.0
150	3.0	2.3	4.6	5.5	-114.3	0	±45.7
100	2.0	1.5	3.0	3.7	-76.2	0	±30.5
84	1.7	1.3	2.6	3.1	-64.0	0	±25.6
80	1.6	1.2	2.4	2.9	-61.0	0	±24.4
72	1.5	1.1	2.2	2.6	-54.9	0	±21.9
70	1.4	1.1	2.1	2.6	-53.3	0	±21.3
60	1.2	0.9	1.8	2.2	-45.7	0	±18.3

x : 画面サイズ(型)

L : 投映距離(m)

L1 : 最短投映距離

L2 : 最長投映距離

H : レンズセンター位置から画面の最下端までの距離(cm)

W : レンズセンター位置から画面の中心までの距離(cm)

画面サイズと投映距離の近似式

L1=0.03048x

L2=0.03658x

H1=-0.762x

W=±0.3048x

16：9スクイーズモード

画面サイズ			投映距離(L)		レンズセンター位置から画面の最下端までの距離(H)		レンズセンター位置から画面の中心までの距離(W)
対角(型)	幅(m)	高さ(m)	L1:最短	L2:最長	H1:下限	H2:上限	
225	5.0	2.8	7.5	9.0	-140.1	46.7	±74.7
200	4.4	2.5	6.6	8.0	-124.5	41.5	±66.4
150	3.3	1.9	5.0	6.0	-93.4	31.1	±49.8
133	2.9	1.7	4.4	5.3	-82.8	27.6	±44.2
106	2.3	1.3	3.5	4.2	-66.0	22.0	±35.2
100	2.2	1.2	3.3	4.0	-62.3	20.8	±33.2
92	2.0	1.1	3.1	3.7	-57.3	19.1	±30.6
84	1.9	1.0	2.8	3.3	-52.3	17.4	±27.9
72	1.6	0.9	2.4	2.9	-44.8	14.9	±23.9
60	1.3	0.7	2.0	2.4	-37.4	12.5	±19.9

x : 画面サイズ(型)

L : 投映距離(m)

L1 : 最短投映距離

L2 : 最長投映距離

H : レンズセンター位置から画面の最下端までの距離(cm)

W : レンズセンター位置から画面の中心までの距離(cm)

画面サイズと投映距離の近似式

L1=0.03321x

L2=0.03985x

H1=-0.62263x

H2=0.20754x

W=±0.33207x



メモ

- 上記の近似式には±3%の誤差があります。
- 表中に“-”（マイナス記号）がついた値はレンズセンターからの直線距離がスクリーンより下になることを示しています。

長焦点ズームレンズ (AN-PH4EZ)

F2.4～F2.5、f=31.9～42.5mm

4：3ズームモード（コンピュータ入力時は、標準モードとなります。）

画面サイズ			投映距離 (L)		レンズセンター位置から画面の最下端までの距離 (H)		レンズセンター位置から画面の中心までの距離 (W)
対角 (型)	幅 (m)	高さ (m)	L1:最短	L2:最長	H1:下限	H2:上限	
250	5.1	3.8	11.4	15.2	-190.5	0	±76.2
200	4.1	3.0	9.1	12.2	-152.4	0	±61.0
150	3.0	2.3	6.9	9.1	-114.3	0	±45.7
100	2.0	1.5	4.6	6.1	-76.2	0	±30.5
84	1.7	1.3	3.8	5.1	-64.0	0	±25.6
80	1.6	1.2	3.7	4.9	-61.0	0	±24.4
72	1.5	1.1	3.3	4.4	-54.9	0	±21.9
70	1.4	1.1	3.2	4.3	-53.3	0	±21.3
60	1.2	0.9	2.7	3.7	-45.7	0	±18.3

x：画面サイズ (型)

L：投映距離 (m)

L1：最短投映距離

L2：最長投映距離

H：レンズセンター位置から画面の最下端までの距離 (cm)

W：レンズセンター位置から画面の中心までの距離 (cm)

画面サイズと投映距離の近似式

L1=0.04572x

L2=0.06096x

H1=-0.762x

W=±0.3048x

16：9スクイーズモード

画面サイズ			投映距離 (L)		レンズセンター位置から画面の最下端までの距離 (H)		レンズセンター位置から画面の中心までの距離 (W)
対角 (型)	幅 (m)	高さ (m)	L1:最短	L2:最長	H1:下限	H2:上限	
225	5.0	2.8	11.2	14.9	-140.1	46.7	±74.7
200	4.4	2.5	10.0	13.3	-124.5	41.5	±66.4
150	3.3	1.9	7.5	10.0	-93.4	31.1	±49.8
133	2.9	1.7	6.6	8.8	-82.8	27.6	±44.2
106	2.3	1.3	5.3	7.0	-66.0	22.0	±35.2
100	2.2	1.2	5.0	6.6	-62.3	20.8	±33.2
92	2.0	1.1	4.6	6.1	-57.3	19.1	±30.6
84	1.9	1.0	4.2	5.6	-52.3	17.4	±27.9
72	1.6	0.9	3.6	4.8	-44.8	14.9	±23.9
60	1.3	0.7	3.0	4.0	-37.4	12.5	±19.9

x：画面サイズ (型)

L：投映距離 (m)

L1：最短投映距離

L2：最長投映距離

H：レンズセンター位置から画面の最下端までの距離 (cm)

W：レンズセンター位置から画面の中心までの距離 (cm)

画面サイズと投映距離の近似式

L1=0.04981x

L2=0.06641x

H1=-0.62263x

H2=0.20754x

W=±0.33207x



メモ

- 上記の近似式には±3%の誤差があります。
- 表中に“-”（マイナス記号）がついた値はレンズセンターからの直線距離がスクリーンより下になることを示しています。

画面サイズと投映距離

長焦点ズームレンズ (AN-PH5EZ)

F2.5、f=40.8～62.8mm

4：3ズームモード（コンピュータ入力時は、標準モードとなります。）

画面サイズ			投映距離(L)		レンズセンター位置から画面の最下端までの距離(H)		レンズセンター位置から画面の中心までの距離(W)
対角(型)	幅(m)	高さ(m)	L1:最短	L2:最長	H1:下限	H2:上限	
250	5.1	3.8	15.2	22.9	-190.5	0	±76.2
200	4.1	3.0	12.2	18.3	-152.4	0	±61.0
150	3.0	2.3	9.1	13.7	-114.3	0	±45.7
100	2.0	1.5	6.1	9.1	-76.2	0	±30.5
84	1.7	1.3	5.1	7.7	-64.0	0	±25.6
80	1.6	1.2	4.9	7.3	-61.0	0	±24.4
72	1.5	1.1	4.4	6.6	-54.9	0	±21.9
70	1.4	1.1	4.3	6.4	-53.3	0	±21.3
60	1.2	0.9	3.7	5.5	-45.7	0	±18.3

x：画面サイズ(型)

L：投映距離(m)

L1：最短投映距離

L2：最長投映距離

H：レンズセンター位置から画面の最下端までの距離(cm)

W：レンズセンター位置から画面の中心までの距離(cm)

画面サイズと投映距離の近似式

L1=0.06096x

L2=0.09144x

H1=-0.762x

W=±0.3048x

16：9スクイーズモード

画面サイズ			投映距離(L)		レンズセンター位置から画面の最下端までの距離(H)		レンズセンター位置から画面の中心までの距離(W)
対角(型)	幅(m)	高さ(m)	L1:最短	L2:最長	H1:下限	H2:上限	
225	5.0	2.8	14.9	22.4	-140.1	46.7	±74.7
200	4.4	2.5	13.3	19.9	-124.5	41.5	±66.4
150	3.3	1.9	10.0	14.9	-93.4	31.1	±49.8
133	2.9	1.7	8.8	13.2	-82.8	27.6	±44.2
106	2.3	1.3	7.0	10.6	-66.0	22.0	±35.2
100	2.2	1.2	6.6	10.0	-62.3	20.8	±33.2
92	2.0	1.1	6.1	9.2	-57.3	19.1	±30.6
84	1.9	1.0	5.6	8.4	-52.3	17.4	±27.9
72	1.6	0.9	4.8	7.2	-44.8	14.9	±23.9
60	1.3	0.7	4.0	6.0	-37.4	12.5	±19.9

x：画面サイズ(型)

L：投映距離(m)

L1：最短投映距離

L2：最長投映距離

H：レンズセンター位置から画面の最下端までの距離(cm)

W：レンズセンター位置から画面の中心までの距離(cm)

画面サイズと投映距離の近似式

L1=0.06641x

L2=0.09962x

H1=-0.62263x

H2=0.20754x

W=±0.33207x



メモ

- 上記の近似式には±3%の誤差があります。
- 表中に“-”（マイナス記号）がついた値はレンズセンターからの直線距離がスクリーンより下になることを示しています。

長焦点ズームレンズ (AN-PH6EZ)

F2.4 ~ F2.5、f=62.1 ~ 97.8mm

4:3ズームモード (コンピュータ入力時は、標準モードとなります。)

画面サイズ			投映距離 (L)		レンズセンター位置から画面の最下端までの距離 (H)		レンズセンター位置から画面の中心までの距離 (W)
対角 (型)	幅 (m)	高さ (m)	L1:最短	L2:最長	H1:下限	H2:上限	
250	5.1	3.8	22.9	35.6	-190.5	0	±76.2
200	4.1	3.0	18.3	28.4	-152.4	0	±61.0
150	3.0	2.3	13.7	21.3	-114.3	0	±45.7
100	2.0	1.5	9.1	14.2	-76.2	0	±30.5
84	1.7	1.3	7.7	11.9	-64.0	0	±25.6
80	1.6	1.2	7.3	11.4	-61.0	0	±24.4
72	1.5	1.1	6.6	10.2	-54.9	0	±21.9
70	1.4	1.1	6.4	10.0	-53.3	0	±21.3
60	1.2	0.9	5.5	8.5	-45.7	0	±18.3

x : 画面サイズ (型)

L : 投映距離 (m)

L1 : 最短投映距離

L2 : 最長投映距離

H : レンズセンター位置から画面の最下端までの距離 (cm)

W : レンズセンター位置から画面の中心までの距離 (cm)

画面サイズと投映距離の近似式

L1=0.09144x

L2=0.14224x

H1=-0.762x

W=±0.3048x

16:9スクイーズモード

画面サイズ			投映距離 (L)		レンズセンター位置から画面の最下端までの距離 (H)		レンズセンター位置から画面の中心までの距離 (W)
対角 (型)	幅 (m)	高さ (m)	L1:最短	L2:最長	H1:下限	H2:上限	
225	5.0	2.8	22.4	34.9	-140.1	46.7	±74.7
200	4.4	2.5	19.9	31.0	-124.5	41.5	±66.4
150	3.3	1.9	14.9	23.2	-93.4	31.1	±49.8
133	2.9	1.7	13.2	20.6	-82.8	27.6	±44.2
106	2.3	1.3	10.6	16.4	-66.0	22.0	±35.2
100	2.2	1.2	10.0	15.5	-62.3	20.8	±33.2
92	2.0	1.1	9.2	14.3	-57.3	19.1	±30.6
84	1.9	1.0	8.4	13.0	-52.3	17.4	±27.9
72	1.6	0.9	7.2	11.2	-44.8	14.9	±23.9
60	1.3	0.7	6.0	9.3	-37.4	12.5	±19.9

x : 画面サイズ (型)

L : 投映距離 (m)

L1 : 最短投映距離

L2 : 最長投映距離

H : レンズセンター位置から画面の最下端までの距離 (cm)

W : レンズセンター位置から画面の中心までの距離 (cm)

画面サイズと投映距離の近似式

L1=0.09962x

L2=0.15497x

H1=-0.62263x

H2=0.20754x

W=±0.33207x



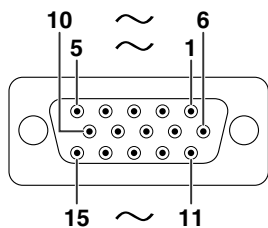
メモ

- 上記の近似式には±3%の誤差があります。
- 表中に“-” (マイナス記号) がついた値はレンズセンターからの直線距離がスクリーンより下になることを示しています。

本体のコネクターのピン配置

RGB入力信号端子 (INPUT1) とRGB出力信号端子 (OUTPUT (FOR INPUT 1, 2)) :

15ピンミニD-subコネクタ (メス)



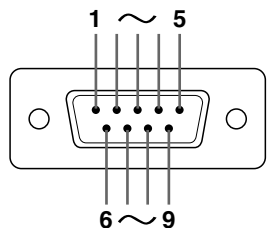
RGB入力

1. 映像入力 (赤)
2. 映像入力 (緑/シンクオングリーン)
3. 映像入力 (青)
4. NC
5. NC
6. 接地 (赤)
7. 接地 (緑/シンクオングリーン)
8. 接地 (青)
9. NC
10. 接地
11. NC
12. データ
13. 水平同期信号
14. 垂直同期信号
15. クロック

コンポーネント (色差) 入力

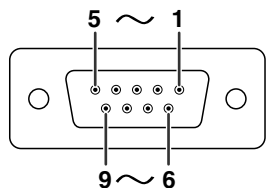
1. P_R (C_R)
2. Y
3. P_B (C_B)
4. NC
5. NC
6. 接地 (P_R)
7. 接地 (Y)
8. 接地 (P_B)
9. NC
10. NC
11. NC
12. NC
13. NC
14. NC
15. NC

RS-232C端子 : 9ピンD-subコネクタ (オス)



ピン番号	信号	信号名	I/O	参考
1	NC			
2	RD	受信データ	入力	内部回路に接続
3	SD	送信データ	出力	内部回路に接続
4	NC			
5	SG	接地		内部回路に接続
6	NC			
7	RS	送信要求	出力	内部回路でCSに接続
8	CS	送信可	入力	内部回路でRSに接続
9	NC			

RS-232Cケーブルの推奨接続 : 9ピンD-subコネクタ (メス)



ピン番号	信号	ピン番号	信号
1	CD	1	CD
2	RD	2	RD
3	SD	3	SD
4	ER	4	ER
5	SG	5	SG
6	DR	6	DR
7	RS	7	RS
8	CS	8	CS
9	CI	9	CI



メモ

- 使用するコントロール機器 (コンピュータなど) によってはピン4とピン6を接続する必要があります。

プロジェクトの コンピュータの
ピン番号 ピン番号



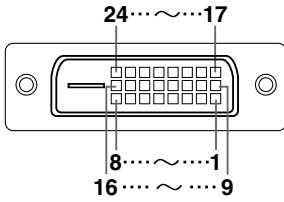
LAN端子 : 8ピンRJ-45モジュラコネクタ



ピン番号	信号	ピン番号	信号
1	TX+	5	
2	TX-	6	RX-
3	RX+	7	
4		8	

本体のコネクターのピン配置

DVI デジタル入力端子 (INPUT (入力) 3端子)



ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1	T.M.D.S. データ 2-	17	T.M.D.S. データ 0-
2	T.M.D.S. データ 2+	18	T.M.D.S. データ 0+
3	T.M.D.S. データ 2 シールド	19	T.M.D.S. データ 0シールド
4	NC	20	NC
5	NC	21	NC
6	DDCクロック	22	T.M.D.S. クロックシールド
7	DDCデータ	23	T.M.D.S. クロック+
8	NC	24	T.M.D.S. クロック-
9	T.M.D.S. データ 1-		
10	T.M.D.S. データ 1+		
11	T.M.D.S. データ 1シールド		
12	NC		
13	NC		
14	+5V 電源		
15	接地		
16	ホットプラグ検出		

RS-232C仕様とコマンド

コンピュータによるプロジェクターの制御

コンピュータをRS-232Cシリアル制御ケーブル(クロスタイプ、市販品)でプロジェクターに接続すると、コンピュータでプロジェクターを操作できます。(接続についてはプロジェクターの取扱説明書29ページをご覧ください。)

通信条件

コンピュータのシリアルポートを、次のように設定します。

信号形式 : RS-232C規格に準拠
ボーレート* : 9,600 bps/38,400 bps/115,200 bps
データ長 : 8ビット
パリティビット : なし
ストップビット : 1ビット
フロー制御 : なし
*ボーレートはプロジェクターとコンピュータとで設定を合わせてください。

基本形式

コンピュータからのコマンドは、コマンド、パラメータ、リターンコードの順に送ってください。プロジェクターがコンピュータからのコマンドを処理すると、コンピュータにレスポンスコードを送ります。

コマンド形式



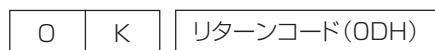
コマンドの4桁

パラメータの4桁

レスポンスコード形式

通常のレスポンス

問題のあるレスポンス(通信エラーや不正なコマンド)



お知らせ

- 複数のコードを送信する場合には、前のコマンドに対するレスポンスコードを受信したあとで、つぎのコマンドを送信してください。
- 「POWR????」「TABN ___ 1」「TLPS ___ 1」「TLPS ___ 2」「TPOW ___ 1」「TLPN ___ 1」「TLTT ___ 1」「TLTT ___ 2」「TLTL ___ 1」「TLTL ___ 2」「TNAM ___ 1」「MNRD ___ 1」「SNRD ___ 1」「PJNO ___ 1」
これらのコマンドをプロジェクターが受信した際は、
*画面表示は消えません。
*「無信号時自動電源オフ機能」のタイマーはリセットされません。

メモ

- プロジェクター制御機能を使っているとき、プロジェクターの調整値はコンピュータ側からは読み取れません。そのため、調整値を確認するには各調整メニューについて表示コマンド(例:RARE ___ 0など)を送信し、画面表示で確認してください。メニュー表示以外のコマンド設定・調整コマンドの場合、プロジェクターは画面表示せずに設定・調整を行います。

コマンド

例: プロジェクターの電源を入れる場合

コンピュータ

プロジェクター



制御する内容	コマンド		パラメータ	リターン			
	電源オン状態	電源スタンバイ状態または電源を入れてから40秒以内					
電源：スタンバイ	P	O	W	R	0	OK または ERR	OK
電源：オン	P	O	W	R	1	OK	OK または ERR
電源の状態	P	O	W	R	?	?	?
プロジェクターの状態	T	A	B	N	-	-	0:正常、1:高温、8:ランプ残存率5%以下、16:ランプ切れ、32:ランプ不点灯
ランプ1の状態	T	L	P	S	1	0:オフ、1:オン、2:再試行、3:待機中、4:ランプのエラー	0: オフ、4: ランプのエラー
ランプ2の状態	T	L	P	S	2	0:オフ、1:オン、2:再試行、3:待機中、4:ランプのエラー	0: オフ、4: ランプのエラー
ランプパワーの状態	T	P	O	W	1	1: オン、2: 冷却中	0: オフ
ランプの数	T	L	P	N	1	2	
音量(0~60)	V	O	L	A	*	*	OK または ERR
ミュート: オフ	M	U	T	E	0	OK または ERR	ERR
ミュート: オン	M	U	T	E	1	OK または ERR	ERR
レンズフォーカス (-255 ~ +255)	L	N	F	O	*	*	OK
レンズズーム (-255 ~ +255)	L	N	Z	O	*	*	OK
垂直レンズシフト (旧コマンドに対応)	L	N	S	H	*	*	OK または ERR
垂直レンズシフト (-800 ~ +800)	L	N	U	D	*	*	OK または ERR
水平レンズシフト (-800 ~ +800)	L	N	L	R	*	*	OK または ERR
垂直キーストーン補正 (旧コマンドに対応)	K	E	Y	S	*	*	OK または ERR
垂直キーストーン補正 (-60 ~ +60)	K	E	Y	V	*	*	OK または ERR
水平キーストーン補正 (-60 ~ +60)	K	E	Y	H	*	*	OK または ERR
イメージリサイズ (-30 ~ +30)	I	M	R	S	*	*	OK または ERR
ブラックスクリーン: オフ	I	M	B	K	0	OK または ERR	ERR
ブラックスクリーン: オン	I	M	B	K	1	OK または ERR	ERR
入力 1 (RGB 1)	I	R	G	B	1	OK または ERR	ERR
入力 2 (RGB 2)	I	R	G	B	2	OK または ERR	ERR
入力 3 (RGB 3)	I	R	G	B	3	OK または ERR	ERR
RGB入力確認	I	R	G	B	?	?	?
入力 4 (ビデオ 1)	I	V	E	D	1	OK または ERR	ERR
入力 5 (ビデオ 2)	I	V	E	D	2	OK または ERR	ERR
ビデオ入力確認	I	V	E	D	?	?	?
入力モード確認	I	M	O	D	?	?	?
入力の確認	I	C	H	K	?	?	?
静止画: オフ	F	R	E	Z	0	OK または ERR	ERR
静止画: オン	F	R	E	Z	1	OK または ERR	ERR
自動同期調整の開始	A	D	J	S	1	OK または ERR	ERR
入力 1 画面サイズ: 標準 (コンピュータ) / ズーム (ビデオ)	R	A	S	R	1	OK または ERR	ERR
入力 1 画面サイズ: スクイーズ (フル) (ビデオのみ)	R	A	S	R	2	OK または ERR	ERR
入力 1 画面サイズ: ドットバイドット (コンピュータ) / 標準 (ビデオ)	R	A	S	R	3	OK または ERR	ERR
入力 1 画面サイズ: ワイド (ビデオのみ)	R	A	S	R	4	OK または ERR	ERR
入力 1 画面サイズ: フル	R	A	S	R	5	OK または ERR	ERR
入力 2 画面サイズ: 標準 (コンピュータ) / ズーム (ビデオ)	R	B	S	R	1	OK または ERR	ERR
入力 2 画面サイズ: スクイーズ (フル) (ビデオのみ)	R	B	S	R	2	OK または ERR	ERR
入力 2 画面サイズ: ドットバイドット (コンピュータ) / 標準 (ビデオ)	R	B	S	R	3	OK または ERR	ERR
入力 2 画面サイズ: ワイド (ビデオのみ)	R	B	S	R	4	OK または ERR	ERR
入力 2 画面サイズ: フル	R	B	S	R	5	OK または ERR	ERR
入力 3 画面サイズ: 標準 (コンピュータ) / ズーム (ビデオ)	R	C	S	R	1	OK または ERR	ERR
入力 3 画面サイズ: スクイーズ (フル) (ビデオのみ)	R	C	S	R	2	OK または ERR	ERR
入力 3 画面サイズ: ドットバイドット (コンピュータ) / 標準 (ビデオ)	R	C	S	R	3	OK または ERR	ERR
入力 3 画面サイズ: ワイド (ビデオのみ)	R	C	S	R	4	OK または ERR	ERR
入力 3 画面サイズ: フル	R	C	S	R	5	OK または ERR	ERR
入力 4 画面サイズ: ズーム	R	A	S	V	1	OK または ERR	ERR
入力 4 画面サイズ: スクイーズ (フル)	R	A	S	V	2	OK または ERR	ERR
入力 4 画面サイズ: 標準	R	A	S	V	3	OK または ERR	ERR
入力 4 画面サイズ: ワイド	R	A	S	V	4	OK または ERR	ERR
入力 5 画面サイズ: ズーム	R	B	S	V	1	OK または ERR	ERR
入力 5 画面サイズ: スクイーズ (フル)	R	B	S	V	2	OK または ERR	ERR
入力 5 画面サイズ: 標準	R	B	S	V	3	OK または ERR	ERR
入力 5 画面サイズ: ワイド	R	B	S	V	4	OK または ERR	ERR
入力 1 映像モード: 標準	R	A	P	S	1	0	OK または ERR
入力 1 映像モード: プレゼンテーション	R	A	P	S	1	1	OK または ERR
入力 1 映像モード: シネマ	R	A	P	S	1	2	OK または ERR
入力 1 映像モード: ユーザー設定	R	A	P	S	1	3	OK または ERR
入力 1 コントラスト (-30 ~ +30)	R	A	P	I	*	*	OK または ERR
入力 1 明るさ (-30 ~ +30)	R	A	B	R	*	*	OK または ERR
入力 1 色の濃さ (-30 ~ +30)	R	A	C	O	*	*	OK または ERR
入力 1 色あい	R	A	T	I	*	*	OK または ERR
入力 1 赤 (-30 ~ +30)	R	A	R	D	*	*	OK または ERR
入力 1 緑 (-30 ~ +30)	R	A	G	N	*	*	OK または ERR
入力 1 青 (-30 ~ +30)	R	A	B	E	*	*	OK または ERR
入力 1 画質 (-30 ~ +30)	R	A	S	H	*	*	OK または ERR
入力 1 色温度 *1	R	A	C	T	*	*	OK または ERR
入力 1 白伸長 (0~10)	R	A	W	E	*	*	OK または ERR
入力 1 プログレッシブ: 2Dプログラッシブ	R	A	I	P	0	OK または ERR	ERR
入力 1 プログレッシブ: 3Dプログラッシブ	R	A	I	P	1	OK または ERR	ERR
入力 1 プログレッシブ: フィルム	R	A	I	P	2	OK または ERR	ERR

RS-232C仕様とコマンド

制御する内容	コマンド	パラメータ	リターン	
			電源オン状態	電源スタンバイ状態または電源を入れてから40秒以内
入力 1 DNR : オフ	R A N R	0	OK または ERR	ERR
入力 1 DNR : レベル 1	R A N R	1	OK または ERR	ERR
入力 1 DNR : レベル 2	R A N R	2	OK または ERR	ERR
入力 1 DNR : レベル 3	R A N R	3	OK または ERR	ERR
入力 1 調整のリセット	R A R E	0	OK または ERR	ERR
入力 1 入力信号タイプ : 自動	I A S I	0	OK または ERR	ERR
入力 1 入力信号タイプ : RGB	I A S I	1	OK または ERR	ERR
入力 1 入力信号タイプ : 色差	I A S I	2	OK または ERR	ERR
入力 1 表示	R A R E	0	OK または ERR	ERR
入力 2 映像モード : 標準	R B P S	10	OK または ERR	ERR
入力 2 映像モード : プレゼンテーション	R B P S	11	OK または ERR	ERR
入力 2 映像モード : シネマ	R B P S	12	OK または ERR	ERR
入力 2 映像モード : ユーザー設定	R B P S	13	OK または ERR	ERR
入力 2 コントラスト (-30 ~ +30)	R B P I	**	OK または ERR	ERR
入力 2 明るさ (-30 ~ +30)	R B B R	**	OK または ERR	ERR
入力 2 色の濃さ (-30 ~ +30)	R B C O	**	OK または ERR	ERR
入力 2 色あい	R B T I	**	OK または ERR	ERR
入力 2 赤 (-30 ~ +30)	R B R D	**	OK または ERR	ERR
入力 2 緑 (-30 ~ +30)	R B G N	**	OK または ERR	ERR
入力 2 青 (-30 ~ +30)	R B B E	**	OK または ERR	ERR
入力 2 画質 (-30 ~ +30)	R B S H	**	OK または ERR	ERR
入力 2 色温度 *1	R B C T	**	OK または ERR	ERR
入力 2 白伸長 (0 ~ 10)	R B W E	**	OK または ERR	ERR
入力 2 プログレッシブ : 2Dプログレッシブ	R B I P	0	OK または ERR	ERR
入力 2 プログレッシブ : 3Dプログレッシブ	R B I P	1	OK または ERR	ERR
入力 2 プログレッシブ : フィルム	R B I P	2	OK または ERR	ERR
入力 2 DNR : オフ	R B N R	0	OK または ERR	ERR
入力 2 DNR : レベル 1	R B N R	1	OK または ERR	ERR
入力 2 DNR : レベル 2	R B N R	2	OK または ERR	ERR
入力 2 DNR : レベル 3	R B N R	3	OK または ERR	ERR
入力 2 調整のリセット	R B R E	0	OK または ERR	ERR
入力 2 入力信号タイプ : 自動	I B S I	0	OK または ERR	ERR
入力 2 入力信号タイプ : RGB	I B S I	1	OK または ERR	ERR
入力 2 入力信号タイプ : 色差	I B S I	2	OK または ERR	ERR
入力 2 表示	R B R E	0	OK または ERR	ERR
入力 3 映像モード : 標準	R C P S	10	OK または ERR	ERR
入力 3 映像モード : プレゼンテーション	R C P S	11	OK または ERR	ERR
入力 3 映像モード : シネマ	R C P S	12	OK または ERR	ERR
入力 3 映像モード : ユーザー設定	R C P S	13	OK または ERR	ERR
入力 3 コントラスト (-30 ~ +30)	R C P I	**	OK または ERR	ERR
入力 3 明るさ (-30 ~ +30)	R C B R	**	OK または ERR	ERR
入力 3 色の濃さ (-30 ~ +30)	R C C O	**	OK または ERR	ERR
入力 3 色あい	R C T I	**	OK または ERR	ERR
入力 3 赤 (-30 ~ +30)	R C R D	**	OK または ERR	ERR
入力 3 緑 (-30 ~ +30)	R C G N	**	OK または ERR	ERR
入力 3 青 (-30 ~ +30)	R C B E	**	OK または ERR	ERR
入力 3 画質 (-30 ~ +30)	R C S H	**	OK または ERR	ERR
入力 3 色温度 *1	R C C T	**	OK または ERR	ERR
入力 3 白伸長 (0 ~ 10)	R C W E	**	OK または ERR	ERR
入力 3 DNR : オフ	R C N R	0	OK または ERR	ERR
入力 3 DNR : レベル 1	R C N R	1	OK または ERR	ERR
入力 3 DNR : レベル 2	R C N R	2	OK または ERR	ERR
入力 3 DNR : レベル 3	R C N R	3	OK または ERR	ERR
入力 3 調整のリセット	R C R E	0	OK または ERR	ERR
入力 3 入力信号タイプ : D. PC RGB	I C S I	3	OK または ERR	ERR
入力 3 入力信号タイプ : D. PC 色差	I C S I	4	OK または ERR	ERR
入力 3 入力信号タイプ : D. ビデオ RGB	I C S I	5	OK または ERR	ERR
入力 3 入力信号タイプ : D. ビデオ 色差	I C S I	6	OK または ERR	ERR
入力 3 表示	R C R E	0	OK または ERR	ERR
入力 4 映像モード : 標準	V A P S	10	OK または ERR	ERR
入力 4 映像モード : プレゼンテーション	V A P S	11	OK または ERR	ERR
入力 4 映像モード : シネマ	V A P S	12	OK または ERR	ERR
入力 4 映像モード : ユーザー設定	V A P S	13	OK または ERR	ERR
入力 4 コントラスト (-30 ~ +30)	V A P I	**	OK または ERR	ERR
入力 4 明るさ (-30 ~ +30)	V A B R	**	OK または ERR	ERR
入力 4 色の濃さ (-30 ~ +30)	V A C O	**	OK または ERR	ERR
入力 4 色あい	V A T I	**	OK または ERR	ERR
入力 4 赤 (-30 ~ +30)	V A R D	**	OK または ERR	ERR
入力 4 緑 (-30 ~ +30)	V A G N	**	OK または ERR	ERR
入力 4 青 (-30 ~ +30)	V A B E	**	OK または ERR	ERR
入力 4 画質 (-30 ~ +30)	V A S H	**	OK または ERR	ERR
入力 4 色温度 *1	V A C T	**	OK または ERR	ERR
入力 4 白伸長 (0 ~ 10)	V A W E	**	OK または ERR	ERR
入力 4 プログレッシブ : 2Dプログレッシブ	V A I P	0	OK または ERR	ERR
入力 4 プログレッシブ : 3Dプログレッシブ	V A I P	1	OK または ERR	ERR
入力 4 プログレッシブ : フィルム	V A I P	2	OK または ERR	ERR
入力 4 DNR : オフ	V A N R	0	OK または ERR	ERR
入力 4 DNR : レベル 1	V A N R	1	OK または ERR	ERR
入力 4 DNR : レベル 2	V A N R	2	OK または ERR	ERR
入力 4 DNR : レベル 3	V A N R	3	OK または ERR	ERR
入力 4 調整のリセット	V A R E	0	OK または ERR	ERR
入力 4 表示	V A R E	0	OK または ERR	ERR
入力 5 映像モード : 標準	V B P S	10	OK または ERR	ERR
入力 5 映像モード : プレゼンテーション	V B P S	11	OK または ERR	ERR
入力 5 映像モード : シネマ	V B P S	12	OK または ERR	ERR
入力 5 映像モード : ユーザー設定	V B P S	13	OK または ERR	ERR
入力 5 コントラスト (-30 ~ +30)	V B P I	**	OK または ERR	ERR
入力 5 明るさ (-30 ~ +30)	V B B R	**	OK または ERR	ERR

RS-232C仕様とコマンド

制御する内容	コマンド	パラメータ	リターン	
			電源オン状態	電源スタンバイ状態または電源を入れてから40秒以内
入力 5 色の濃さ (-30 ~ +30)	V B C O	***	OK または ERR	ERR
入力 5 色あい	V B T I	***	OK または ERR	ERR
入力 5 赤 (-30 ~ +30)	V B R D	***	OK または ERR	ERR
入力 5 緑 (-30 ~ +30)	V B G N	***	OK または ERR	ERR
入力 5 青 (-30 ~ +30)	V B B E	***	OK または ERR	ERR
入力 5 画質 (-30 ~ +30)	V B S H	***	OK または ERR	ERR
入力 5 色温度 *1	V B C T	***	OK または ERR	ERR
入力 5 白伸長 (0 ~ 10)	V B W E	**	OK または ERR	ERR
入力 5 プロGRESS : 2DプロGRESS	V B I P	0	OK または ERR	ERR
入力 5 プロGRESS : 3DプロGRESS	V B I P	1	OK または ERR	ERR
入力 5 プロGRESS : フィルム	V B I P	2	OK または ERR	ERR
入力 5 DNR : オフ	V B N R	0	OK または ERR	ERR
入力 5 DNR : レベル 1	V B N R	1	OK または ERR	ERR
入力 5 DNR : レベル 2	V B N R	2	OK または ERR	ERR
入力 5 DNR : レベル 3	V B N R	3	OK または ERR	ERR
入力 5 調整のリセット	V B R E	1	OK または ERR	ERR
入力 5 表示	V B R E	0	OK または ERR	ERR
入力 1 カラー設定 : 標準	C S R A	00	OK または ERR	ERR
入力 1 カラー設定 : sRGB	C S R A	01	OK または ERR	ERR
入力 1 カラー設定 : ユーザー設定 1	C S R A	11	OK または ERR	ERR
入力 1 カラー設定 : ユーザー設定 2	C S R A	12	OK または ERR	ERR
入力 1 カラー設定 : ユーザー設定 3	C S R A	13	OK または ERR	ERR
入力 2 カラー設定 : 標準	C S R B	00	OK または ERR	ERR
入力 2 カラー設定 : sRGB	C S R B	01	OK または ERR	ERR
入力 2 カラー設定 : ユーザー設定 1	C S R B	11	OK または ERR	ERR
入力 2 カラー設定 : ユーザー設定 2	C S R B	12	OK または ERR	ERR
入力 2 カラー設定 : ユーザー設定 3	C S R B	13	OK または ERR	ERR
入力 3 カラー設定 : 標準	C S R C	00	OK または ERR	ERR
入力 3 カラー設定 : sRGB	C S R C	01	OK または ERR	ERR
入力 3 カラー設定 : ユーザー設定 1	C S R C	11	OK または ERR	ERR
入力 3 カラー設定 : ユーザー設定 2	C S R C	12	OK または ERR	ERR
入力 3 カラー設定 : ユーザー設定 3	C S R C	13	OK または ERR	ERR
入力 4 カラー設定 : 標準	C S V A	00	OK または ERR	ERR
入力 4 カラー設定 : ユーザー設定 1	C S V A	11	OK または ERR	ERR
入力 4 カラー設定 : ユーザー設定 2	C S V A	12	OK または ERR	ERR
入力 4 カラー設定 : ユーザー設定 3	C S V A	13	OK または ERR	ERR
入力 5 カラー設定 : 標準	C S V B	00	OK または ERR	ERR
入力 5 カラー設定 : ユーザー設定 1	C S V B	11	OK または ERR	ERR
入力 5 カラー設定 : ユーザー設定 2	C S V B	12	OK または ERR	ERR
入力 5 カラー設定 : ユーザー設定 3	C S V B	13	OK または ERR	ERR
ターゲット : 赤	C M T G	1	OK または ERR	ERR
ターゲット : 黄	C M T G	2	OK または ERR	ERR
ターゲット : 緑	C M T G	3	OK または ERR	ERR
ターゲット : シアン	C M T G	4	OK または ERR	ERR
ターゲット : 青	C M T G	5	OK または ERR	ERR
ターゲット : マゼンダ	C M T G	6	OK または ERR	ERR
明度 (-30 ~ +30)	C M S L	**	OK または ERR	ERR
彩度 (-30 ~ +30)	C M S C	**	OK または ERR	ERR
色相 (-30 ~ +30)	C M S H	**	OK または ERR	ERR
リセット (選択色のみ)	C M R E	1	OK または ERR	ERR
リセット (全色)	C M R E	2	OK または ERR	ERR
クロック (-150 ~ +150)	I N C L	**	OK または ERR	ERR
水平位相 (-60 ~ +60)	I N P H	**	OK または ERR	ERR
水平位置 (-150 ~ +150)	I A H P	**	OK または ERR	ERR
垂直位置 (-60 ~ +60)	I A V P	**	OK または ERR	ERR
同期調整画面	I A R E	0	OK または ERR	ERR
同期調整のリセット	I A R E	1	OK または ERR	ERR
メモリー保存 (1 ~ 7)	M E M S	*	OK または ERR	ERR
メモリー選択 (1 ~ 7)	M E M L	*	OK または ERR	ERR
RGB水平周波数の確認	T F R Q	1 kHz (** * または)	ERR	ERR
RGB垂直周波数の確認	T F R Q	2 Hz (** * または)	ERR	ERR
自動同期調整 : オフ	A A D J	0	OK または ERR	ERR
自動同期調整 : 標準	A A D J	1	OK または ERR	ERR
自動同期調整 : 高速	A A D J	2	OK または ERR	ERR
自動同期調整の表示 : オフ	I M A S	0	OK または ERR	ERR
自動同期調整の表示 : オン	I M A S	1	OK または ERR	ERR
バランス (-30 ~ +30)	A A B L	**	OK または ERR	ERR
高温 (-30 ~ +30)	A A T E	**	OK または ERR	ERR
低音 (-30 ~ +30)	A A B A	**	OK または ERR	ERR
音声表示	A A R E	0	OK または ERR	ERR
音声調整のリセット	A A R E	1	OK または ERR	ERR
音声出力 : FAQ	A O U T	1	OK または ERR	ERR
音声出力 : VAO	A O U T	2	OK または ERR	ERR
スピーカー : オフ	A S P K	0	OK または ERR	ERR
スピーカー : オン	A S P K	1	OK または ERR	ERR
ピクチャーインピクチャー : 右下	P I N P	11	OK または ERR	ERR
ピクチャーインピクチャー : 左下	P I N P	12	OK または ERR	ERR
ピクチャーインピクチャー : 右上	P I N P	13	OK または ERR	ERR
ピクチャーインピクチャー : 左上	P I N P	14	OK または ERR	ERR
ピクチャーインピクチャー : オフ	P I N P	0	OK または ERR	ERR
デジタルシフト (-96 ~ +96)	L N D S	**	OK または ERR	ERR
OSD表示 : 標準	I M D I	1	OK または ERR	ERR
OSD表示 : レベル A	I M D I	2	OK または ERR	ERR
OSD表示 : レベル B	I M D I	0	OK または ERR	ERR
ブラックスクリーンの表示 : オフ	I M B O	0	OK または ERR	ERR
ブラックスクリーンの表示 : オン	I M B O	1	OK または ERR	ERR
映像信号方式の選択 : 自動	M E S Y	1	OK または ERR	ERR
映像信号方式の選択 : PAL	M E S Y	2	OK または ERR	ERR
映像信号方式の選択 : SECAM	M E S Y	3	OK または ERR	ERR
映像信号方式の選択 : NTSC 4.4.3	M E S Y	4	OK または ERR	ERR
映像信号方式の選択 : NTSC 3.5.8	M E S Y	5	OK または ERR	ERR

RS-232C仕様とコマンド

制御する内容	コマンド	パラメータ	リターン	
			電源オン状態	電源スタンバイ状態または電源を入れてから40秒以内
映像信号方式の選択 : PAL-M	M E S Y	6	OK または ERR	ERR
映像信号方式の選択 : PAL-N	M E S Y	7	OK または ERR	ERR
無信号時画面 : ロゴ	I M B G	1	OK または ERR	ERR
無信号時画面 : ユーザー選択画面	I M B G	2	OK または ERR	ERR
無信号時画面 : ブルーバック	I M B G	3	OK または ERR	ERR
無信号時画面 : 画面表示なし	I M B G	4	OK または ERR	ERR
オープニング画面 : ロゴ	I M S I	1	OK または ERR	ERR
オープニング画面 : ユーザー選択画面	I M S I	2	OK または ERR	ERR
オープニング画面 : 画面表示なし	I M S I	3	OK または ERR	ERR
エコモード : 標準	T H M D	0	OK または ERR	ERR
エコモード : エコモード	T H M D	1	OK または ERR	ERR
自動入力サーチ : オフ	I N S E	0	OK または ERR	ERR
自動入力サーチ : オン	I N S E	1	OK または ERR	ERR
自動電源オフ : オフ	A P O W	0	OK または ERR	ERR
自動電源オフ : オン	A P O W	1	OK または ERR	ERR
ランプ1使用時間(時間)	T L T T	1	0 - 9999 (整数)	
ランプ2使用時間(時間)	T L T T	2	0 - 9999 (整数)	
ランプ残率1(パーセンテージ)	T L T L	1	0% - 100% (整数)	
ランプ残率2(パーセンテージ)	T L T L	2	0% - 100% (整数)	
ランプモード : 両ランプ使用	L P M D	0	OK または ERR	ERR
ランプモード : ランプ1のみ使用	L P M D	1	OK または ERR	ERR
ランプモード : ランプ2のみ使用	L P M D	2	OK または ERR	ERR
ランプモード : 両ランプ均等使用	L P M D	3	OK または ERR	ERR
投射方式 : 左右反転オフ	I M R E	0	OK または ERR	ERR
投射方式 : 左右反転オン	I M R E	1	OK または ERR	ERR
投射方式 : 上下反転オフ	I M I N	0	OK または ERR	ERR
投射方式 : 上下反転オン	I M I N	1	OK または ERR	ERR
スタック設定 : 標準	S T A K	0	OK または ERR	ERR
スタック設定 : マスター	S T A K	1	OK または ERR	ERR
スタック設定 : スレーブ	S T A K	2	OK または ERR	ERR
キーロックレベル : 標準	K E Y L	0	OK または ERR	ERR
キーロックレベル : レベルA	K E Y L	1	OK または ERR	ERR
キーロックレベル : レベルB	K E Y L	2	OK または ERR	ERR
入力設定 : 入力 1 切	R A S I	0	OK または ERR	ERR
入力設定 : 入力 1 入	R A S I	1	OK または ERR	ERR
入力設定 : 入力 2 切	R B S I	0	OK または ERR	ERR
入力設定 : 入力 2 入	R B S I	1	OK または ERR	ERR
入力設定 : 入力 3 切	R C S I	0	OK または ERR	ERR
入力設定 : 入力 3 入	R C S I	1	OK または ERR	ERR
入力設定 : 入力 4 切	V A S I	0	OK または ERR	ERR
入力設定 : 入力 4 入	V A S I	1	OK または ERR	ERR
入力設定 : 入力 5 切	V B S I	0	OK または ERR	ERR
入力設定 : 入力 5 入	V B S I	1	OK または ERR	ERR
モニター出力 : 使用しない	M O U T	0	OK または ERR	
モニター出力 : 使用する	M O U T	1	OK または ERR	
LAN/RS232C : 使用しない	L N R S	0	OK または ERR	*2
LAN/RS232C : 使用する	L N R S	1	OK または ERR	
言語選択 : ENGLISH	M E L A	1	OK または ERR	ERR
言語選択 : DEUTSCH	M E L A	2	OK または ERR	ERR
言語選択 : ESPANOL	M E L A	3	OK または ERR	ERR
言語選択 : NEDERLANDS	M E L A	4	OK または ERR	ERR
言語選択 : FRANCAIS	M E L A	5	OK または ERR	ERR
言語選択 : ITALIANO	M E L A	6	OK または ERR	ERR
言語選択 : SVENSKA	M E L A	7	OK または ERR	ERR
言語選択 : 日本語	M E L A	8	OK または ERR	ERR
言語選択 : PORTUGUES	M E L A	9	OK または ERR	ERR
言語選択 : 汉语	M E L A	10	OK または ERR	ERR
言語選択 : 한국어	M E L A	11	OK または ERR	ERR
モデル名の確認	T N A M	1	XGPH50X	
モデル名の確認 2	M N R D	1	XG-PH50X	
シリアル番号の確認 *3	S N R D	1	シリアル番号	
プロジェクター名の設定 1 (最初の4文字) *4	P J N 1	* * * *	OK または ERR	
プロジェクター名の設定 2 (途中の4文字) *4	P J N 2	* * * *	OK または ERR	
プロジェクター名の設定 3 (最後の4文字) *4	P J N 3	* * * *	OK または ERR	
プロジェクター名の確認	P J N 0	- - - -	プロジェクター名	

メモ

- パラメータの列でアンダーバー (_) のところには、スペースを入力します。
 - パラメータの列でアスタリスク (*) のところには、「制御する内容」のカッコ内に示された範囲の値を入力します。
- *1 色温度設定のコマンドのパラメータは、以下のようになります。

設定したい色温度	パラメータ	設定したい色温度	パラメータ
4500K	_ 0 4 5	8500K	_ 0 8 5
5500K	_ 0 5 5	9300K	_ 0 9 3
6500K	_ 0 6 5	10500K	_ 1 0 5
7500K	_ 0 7 5		

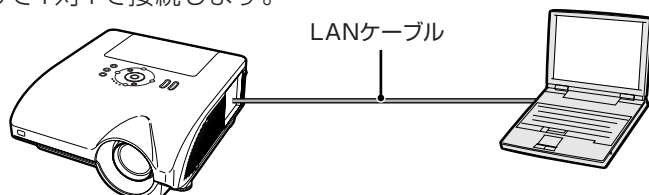
- *2 RS-232Cの機能が停止するため、プロジェクターの応答はありません。
- *3 シリアル番号確認のコマンドは、12桁のシリアル番号を読み出すのに使われます。
- *4 プロジェクター名の設定 1~3は、必ずPJN1、PJN2、PJN3の順にコマンドを送信してください。

本機のネットワーク設定をする

ここでは、本機をネットワーク経由で使用するための基本的な設定方法について説明します。
すでにネットワークが構築されている場合は、決められた値を設定しなければならないことがありますので、ネットワーク管理者にご相談ください。

設定1. 本機とコンピュータを接続する

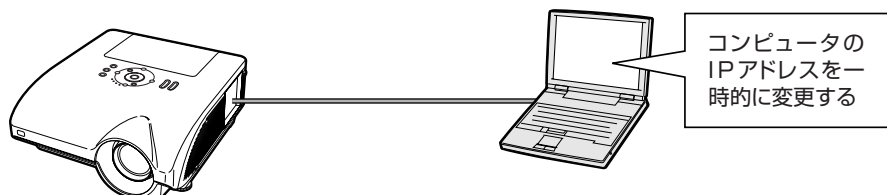
本機と設定用コンピュータを市販のLANケーブル（UTPケーブル、カテゴリ5、クロスタイプ）を使用して1対1で接続します。



➡ 18ページ

設定2. コンピュータのIPアドレスを設定する

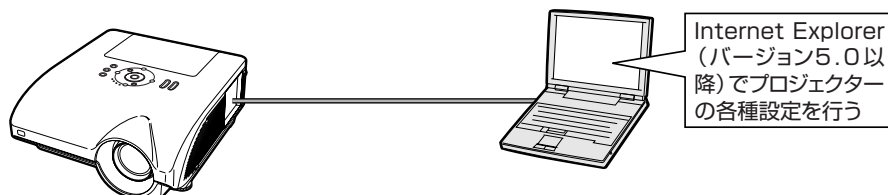
設定用コンピュータのIPアドレスを一時的に変更します。



➡ 19、20ページ

設定3. 本機のネットワーク設定をする

本機をネットワークに接続するための設定をします。



➡ 21ページ

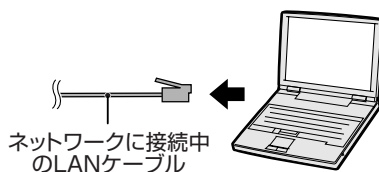
- Microsoft®、Windows®は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国々における登録商標です。
- その他の製品名等の固有名詞は各社の商標または登録商標です。

本機のネットワーク設定をする

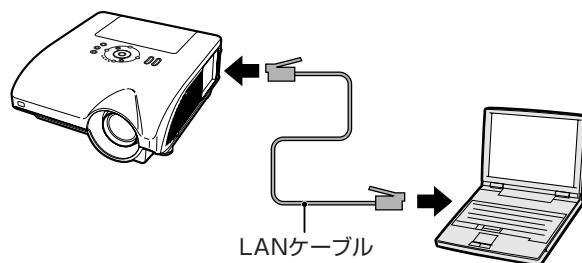
設定1. 本機とコンピュータを接続する

本機を設定するためのコンピュータ（設定用コンピュータ）と本機を、市販のLANケーブルを使用して直接接続します。

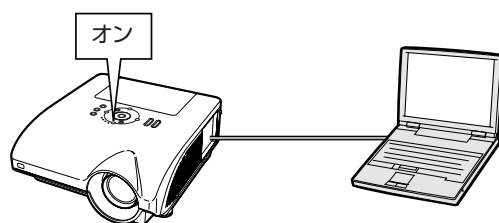
1 設定用コンピュータのLANケーブルを抜き、使用中のネットワークから外す



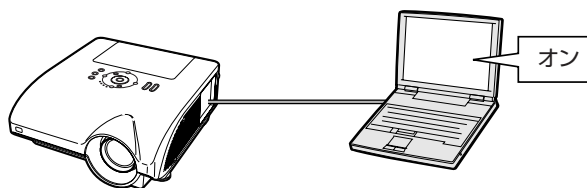
2 本機のLAN端子に市販のLANケーブル（UTPケーブル、カテゴリ5、クロスタイプ）を接続し、もう一方をコンピュータのLAN端子に接続する



3 本機の電源を入れる



4 コンピュータの電源を入れる



お知らせ

本機側面のLINK LEDが点灯することをご確認ください。LINK LEDが点灯しない場合は、下記をご確認ください。

- LANケーブルが正しく接続されていること
- 本機とコンピュータの電源が入っていること

これで、接続は完了です。次の「設定2. コンピュータのIPアドレスを設定する」へお進みください。

設定2. コンピュータのIPアドレスを設定する

ここではWindows XPを例に説明しています。

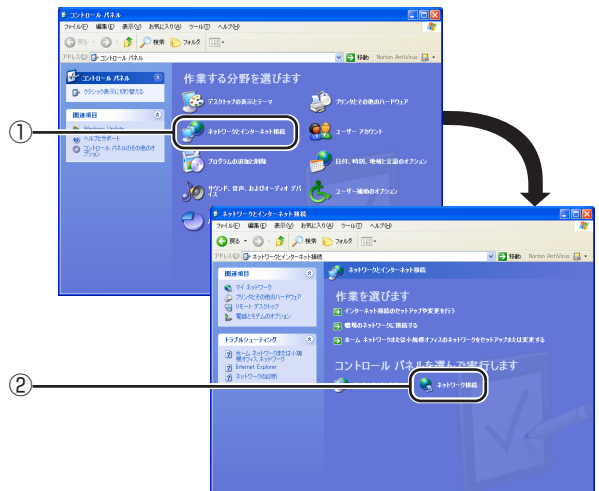
1 コンピュータの管理者のアカウントでログオンする

2 [スタート] ボタンをクリックし、[コントロールパネル(C)] をクリックする

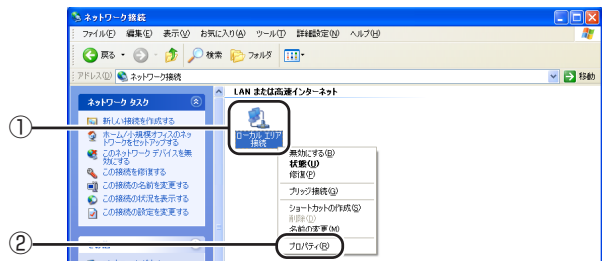


3 [ネットワークとインターネット接続] をクリックし、開いたウィンドウの中にある [ネットワーク接続] をクリックする

•ここでは、カテゴリ表示で説明しています。クラシック表示でご使用の場合は[ネットワーク接続]をダブルクリックします。

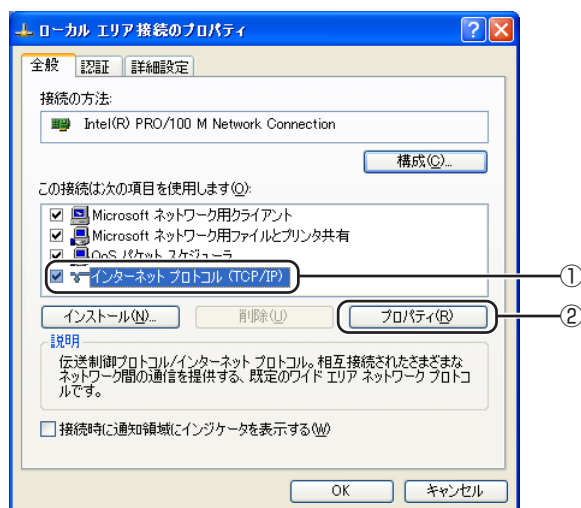


4 [ローカル エリア接続] を右クリックし、メニュー内の [プロパティ(R)] をクリックする



本機のネットワーク設定をする

- 5** 【インターネットプロトコル(TCP/IP)】をクリックし、【プロパティ(R)】ボタンをクリックする



- 6** 設定用コンピュータのIPアドレスを確認・変更する

- ① 現在のIPアドレス、サブネットマスクとデフォルトゲートウェイを確認し、メモします。

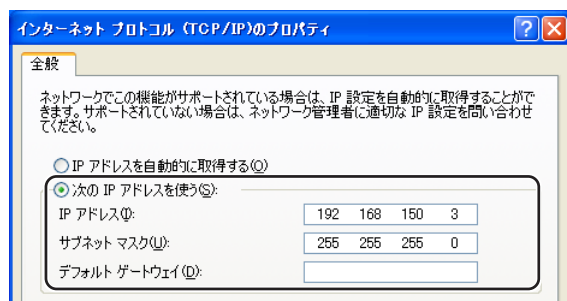
後で、現在のIPアドレス、サブネットマスクとデフォルトゲートウェイに戻す必要がありますので、必ずメモしてください。

- ② 本機のIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの出荷設定値はそれぞれ「192.168.150.2」、「255.255.255.0」、「0.0.0.0」になっています。ここでは一時的にIPアドレスを次のように変更します。

IPアドレス : 192.168.150.3

サブネットマスク : 255.255.255.0

デフォルトゲートウェイ : (何も入力しないでください)



- 7** 設定したら【OK】ボタンをクリックし、コンピュータを再起動する

確認・設定後、「設定3. 本機のネットワーク設定をする」へお進みください。

本機のネットワーク設定をする

設定3. 本機のネットワーク設定をする

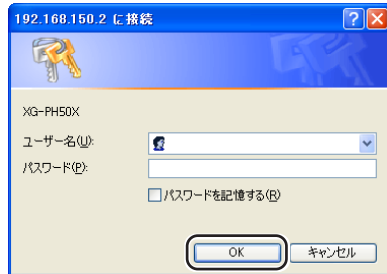
本機のIPアドレスやサブネットマスクなどを、ご使用のネットワークに合わせて設定します。

1 コンピュータのInternet Explorer (バージョン5.0以降) を起動して「アドレス(D)」に“http://192.168.150.2/”を入力し、「Enter」キーを押す

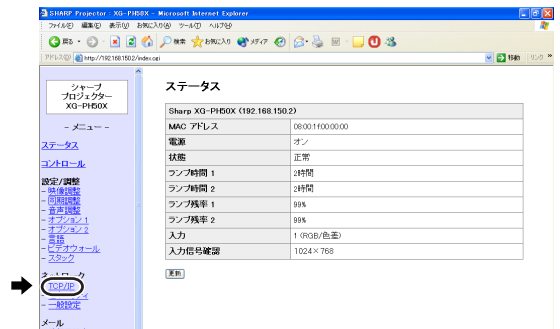


2 ユーザー名とパスワードを設定していないときは、何も入力せず [OK] ボタンをクリックする

- ユーザー名とパスワードを設定しているときは、ユーザー名とパスワードを入力し、[OK]ボタンをクリックします。
- ユーザー名またはパスワードを3回間違えると、エラーメッセージが表示されます。



3 右の画面が表示されたら、[TCP/IP] をクリックする



本機のネットワーク設定をする

4 TCP/IP設定画面が表示されるので、本機のネットワーク設定をする

項目	設定例・備考
IPアドレス	出荷設定値: 192.168.150.2 ネットワークに適したIPアドレスを入力します。
サブネットマスク	出荷設定値: 255.255.255.0 コンピュータやネットワーク上の機器と同じサブネットマスクを設定します。
デフォルトゲートウェイ	出荷設定値: 0.0.0.0 * 使用しない場合は「0.0.0.0」に設定してください。
DNSサーバー	出荷設定値: 0.0.0.0 * 使用しない場合は「0.0.0.0」に設定してください。

ネットワーク - TCP/IP

IPアドレス	192 168 150 2
サブネットマスク	255 255 255 0
デフォルトゲートウェイ	0 0 0 0 使用しない場合は「0.0.0.0」を入力
DNSサーバー	0 0 0 0 使用しない場合は「0.0.0.0」を入力

メモ

- 使用しているネットワークのセグメント (IPアドレスのグループ) をご確認の上、他のネットワーク機器やコンピュータのIPアドレスと重複しないように設定してください。IPアドレス「192.168.150.XXX」のネットワークにて、「192.168.150.2」が未使用の場合は、本機のIPアドレスを変更する必要はありません。
- 各設定値について詳しくは、ネットワーク管理者にご相談ください。

5 [適用] ボタンをクリックする

ネットワーク - TCP/IP

IPアドレス	192 168 150 2
サブネットマスク	255 255 255 0
デフォルトゲートウェイ	0 0 0 0 使用しない場合は「0.0.0.0」を入力
DNSサーバー	0 0 0 0 使用しない場合は「0.0.0.0」を入力



更新

6 設定した数値が表示されるので、正しく設定されているかを確認し、[確認] ボタンをクリックする

項目を設定した後は、10秒ほど時間をあけてから再度アクセスしてください。

ネットワーク - TCP/IP

TCP/IP設定が以下のように変更されます。

IPアドレス	192.168.150.2
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0
DNSサーバー	0.0.0.0

変更してよろしいですか？



「確認」をクリックした後、続けて操作を行う場合は、10秒程度経過した後、192.168.150.2へ再度アクセスして下さい。

これでネットワークの設定は終了です。
設定用コンピュータのIPアドレスを元に戻し、コンピュータおよび本機をネットワークに接続してください。

本機をLAN経由で制御する

本機をお使いのネットワークに接続した後、ネットワーク内のコンピュータで本機のIPアドレスをInternet Explorer (バージョン5.0以降) のアドレス欄に入力すると、設定画面が起動でき、ネットワーク経由でのコントロールが可能になります。

Internet Explorer(バージョン5.0以降)でコントロールする

操作を始める前に、外部機器との接続を済ませておいてください。(プロジェクターの取扱説明書26～38ページ参照)

また、電源コードの接続も済ませておいてください。(プロジェクターの取扱説明書39ページ参照)

メモ

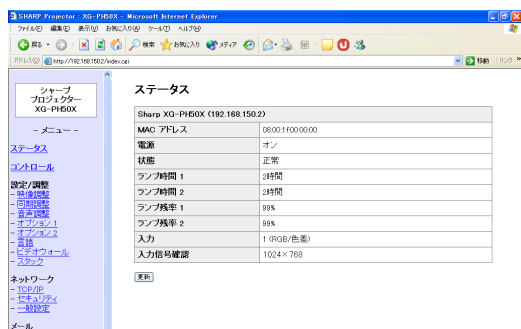
- 本機をLANに接続する場合、ケーブルは市販のLANケーブル(UTPケーブル、カテゴリ5、クロスタイプ)を使用してください。ハブに本機を接続する場合には、ストレートタイプのケーブルを使用してください。

1 コンピュータのInternet Explorer (バージョン5.0以降) を起動する

2 「アドレス(D)」に「http://」に続けて22ページで設定したプロジェクターのIPアドレスと「/」を入力し、「Enter」キーを押す

プロジェクターのIPアドレスの出荷設定値は「192.168.150.2」です。「設定3. 本機のネットワークを設定する」(21～22ページ)でIPアドレスを変更していない場合は、「http://192.168.150.2/」と入力してください。

3 プロジェクターを制御するための画面が表示されたら、各種の状態確認・制御・設定を行う



本機をLAN経由で制御する

本機の状態を確認する(ステータス)

ステータス

Sharp XG-PI50X (192.168.150.2)	
MAC アドレス	08:00:1f:00:00:00
電源	オン
状態	正常
ランプ時間 1	28時間
ランプ時間 2	2時間
ランプ残率 1	99%
ランプ残率 2	99%
入力	1 (RGB/色差)
入力信号確認	1024×768

[更新](#)

この画面では、プロジェクターの状態を確認できます。確認できる項目は次の通りです。

- MAC アドレス
- 電源
- 状態
- ランプ時間 1
- ランプ時間 2
- ランプ残率 1
- ランプ残率 2
- 入力
- 入力信号確認

メモ

- 画面が完全に表示される前に[更新] ボタンをクリックすると、「サーバーアクセス過多エラー」と表示されます。しばらく経ってから、再度アクセスしてください。
- 各項目については、プロジェクターの取扱説明書をご覧ください。

本機をコントロールする(コントロール)

コントロール

電源	<input type="radio"/> スタンバイ <input checked="" type="radio"/> オン
入力切替	入力1 (RGB/色差)
音量	11
ミュート	<input checked="" type="radio"/> オフ <input type="radio"/> オン
ブラックスクリーン	<input checked="" type="radio"/> オフ <input type="radio"/> オン

[更新](#)

この画面では、プロジェクターの制御を行うことができます。制御できる項目は次の通りです。

- 電源
- 入力切替
- 音量
- ミュート [オフ] [オン]
- ブラックスクリーン [オフ] [オン]

メモ

- 画面が完全に表示される前に[更新] ボタンをクリックすると、「サーバーアクセス過多エラー」と表示されます。しばらく経ってから、再度アクセスしてください。
- 電源起動中はページを操作することができません。
- スタンバイ中は電源オンのみ操作することができます。
- 各項目については、プロジェクターの取扱説明書をご覧ください。

本機を設定/調整する(設定/調整)

例:下の画面は、入力1で使用したときの「映像調整」の表示画面です。

設定/調整 - 映像調整 (入力1)

映像モード	標準	リセット
色温度	7500K	
白伸長	10	
プログレッシブ	3Dプログレッシブ	
カラー設定	標準	
DNR	オフ	
入力信号タイプ	自動	
更新		

これらの画面では、プロジェクターの設定・調整を行うことができます。設定/調節できる項目は次の通りです。

- 映像モード
- 色温度
- 白伸長
- プログレッシブ
- カラー設定
- DNR
- 入力信号タイプ
- 自動同期調整
- 自動同期調整画面
- 音声出力
- 内蔵スピーカー [オフ] [オン]
- 画面サイズ
- OSD表示
- 映像信号方式 (入力4/5)
- 無信号時画面
- オープニング画面設定
- エコモード [オフ] [オン]
- 自動入力サーチ [オフ] [オン]
- 無信号時自動電源オフ [オフ] [オン]
- ランプモード
- 投映モード
- キーロックレベル
- 入力設定
- RS-232C通信速度
- 待機時モニター出力
- 言語選択
- ビデオウォール (41ページ)
- スタック設定 (38ページ)

メモ

- 画面が完全に表示される前に [更新] ボタンをクリックすると、「サーバーアクセス過多エラー」と表示されます。しばらく経ってから、再度アクセスしてください。
- 電源起動中はページを操作することができません。
- スタンバイ中は電源オンのみ操作することができます。
- 各項目については、プロジェクターの取扱説明書をご覧ください。

セキュリティの設定をする (ネットワーク - セキュリティ)

ネットワーク - セキュリティ

ユーザー名	<input type="text"/>
パスワード	<input type="password"/>
このユーザー名/パスワードはウェブブラウザもしくはTelnet経由でアクセスする際にも使用します。ユーザー名/パスワードを変更した場合、新しいユーザー名/パスワードで再ログインする必要があります。	
アクセス許可IPアドレス	<input type="checkbox"/> 全てのIPアドレス <input type="checkbox"/> 特定のIPアドレスのみ アドレス1 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> アドレス2 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> アドレス3 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
適用	
更新	

この画面では、セキュリティに関連する設定を行うことができます。

項目	内容
ユーザー名	ユーザー名を設定することにより、セキュリティ保護を行います。
パスワード	パスワードを設定することにより、セキュリティ保護を行います。
アクセス許可IPアドレス	本機に接続をできるIPアドレスを3つまで設定できます。
全てのIPアドレス	本機に接続するIPアドレスに制限を設けません。
特定のIPアドレスのみ	セキュリティ向上のため、「アドレス1」、「アドレス2」、「アドレス3」で設定されたIPアドレスのみ本機に接続できます。

[適用] ボタンをクリックすると、設定した数値が表示されます。正しく設定されているかを確認し、[確認] ボタンをクリックしてください。

メモ

- 項目を設定した後は、10秒ほど時間をあけてから再度アクセスしてください。
- ユーザー名、パスワードは英数字半角8文字まで入力できます。
- 入力可能な文字は、次の通りです。
a-z、A-Z、0-9、-、_
- 設定したユーザー名やパスワードを解除 (取り消し) したいときは、空欄にして [適用] ボタンをクリックします。

本機をLAN経由で制御する

ネットワークの一般的な設定をする(ネットワーク - 一般設定)

ネットワーク - 一般設定

プロジェクター名	PG-PH50X (最大12文字)
自動ログアウト時間	5 分 (0-65535) 0に設定すると、この機能はオフになります。
データポート番号	10002 (1025-65535)
検索用ポート番号	6006 (1025-65535)

[適用]

[更新]

この画面では、ネットワークに関連する一般的な設定を行うことができます。

項目	内容
プロジェクター名	プロジェクターの名前を設定します。
自動ログアウト時間	プロジェクターがネットワーク接続を自動的に切断するまでの時間を、分単位で設定します。 1~65535分の間で設定できます。0に設定すると、この機能はオフになります。
データポート番号	データ通信のTCPポート番号を設定します。1025~65535の間で設定できます。
検索用ポート番号	プロジェクターを検索するときに、使用するポート番号を設定します。1025~65535の間で設定できます。

[適用] ボタンをクリックすると、設定した数値が表示されます。正しく設定されているかを確認し、[確認] ボタンをクリックしてください。

メモ

- 項目を設定した後は、10秒ほど時間をあけてから再度アクセスしてください。
- プロジェクター名は英数字半角12文字まで入力できます。
- 入力可能な文字は、次の通りです。
A-Z、0-9、-、_、(、) (スペース)
(a-zを入力した場合、A-Zに自動的に変換されます。)

エラー発生時にメールを送信するための設定をする

(メール - 発信元設定)

メール - 発信元設定

SMTPサーバー	(最大64文字)
発信元メールアドレス	(最大64文字)
発信元名	(最大64文字)

[適用]

[更新]

この画面では、プロジェクターがエラーを起こしたときに送信されるメールについての設定を行うことができます。

項目	内容・設定例・備考
SMTPサーバー	メール送信用のSMTPサーバーアドレスを設定します。 例1: 192.168.150.253 例2: smtp123.sharp.co.jp * ドメイン名を使用する場合はDNSサーバーの設定も行ってください。
発信元メールアドレス	プロジェクターのメールアドレスを設定します。ここで設定したアドレスは、発信元のメールアドレスになります。
発信元名	発信元の名前を設定します。ここで設定した発信元名は、送信するメール本文の「Originator Name (発信元名)」欄に表示されます。

メモ

- SMTPサーバー、発信元メールアドレス、発信元名は英数字半角64文字まで入力できます。
- 入力可能な文字は、次の通りです。
SMTPサーバー、発信元メールアドレス:
a-z、A-Z、0-9、!、#、\$、%、&、*、+、-、/、=、?、^、\、|、~、`、_、'、@、'
(@は一度のみ指定することができます。)
発信元名:a-z、A-Z、0-9、-、_、(、) (スペース)
- 「設定3. 本機のネットワーク設定をする」(21~22ページ)の設定が正しく設定されていないとメールは送信されません。

エラー発生時にメールを送信するアドレスとエラー項目を設定する(メール - 通知先設定)

メール - 通知先設定

通知先メールアドレス	メールアドレス (最大64文字)	エラーメール				
		ランプ	温度	ファン	カバー	
1	<input type="text"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="button" value="テスト"/>
2	<input type="text"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="button" value="テスト"/>
3	<input type="text"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="button" value="テスト"/>
4	<input type="text"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="button" value="テスト"/>
5	<input type="text"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="button" value="テスト"/>

この画面では、プロジェクターがエラーを起こしたことを知らせるためのメールを送信するアドレスとエラー項目の設定を行うことができます。

項目	内容
通知先メールアドレス	エラー通知メールを送信するメールアドレスを設定します。最大5つのアドレスを設定できます。
エラーメール (ランプ、温度、ファン、カバー)	チェックボックスにチェックマークを入れたエラー項目についてエラー通知メールを発信します。
テスト	テストメールを送信します。メール送信に関する設定が正しくされているかどうかを確認することができます。

メモ

- 通知先メールアドレスは英数字半角64文字まで入力できます。
- 通知先メールアドレスに入力可能な文字は、次の通りです。
a-z, A-Z, 0-9, !, #, \$, %, &, *, +, -, /, =, ?, ^, \, |, ~, ` , ' , ' , ' , @,
(@は一度のみ指定することができます。)
- エラー項目については、本機の取扱説明書をご覧ください。

RS-232CまたはTelnet経由で本機を設定する

RS-232CまたはTelnet経由で本機をコンピュータと接続し、コンピュータでSETUP MENU画面を開いて本機の各種設定を行うことができます。

RS-232C経由で接続する場合

1 コンピュータで汎用のターミナルエミュレーターを起動する

2 RS-232CのPortの設定を以下のよう
に設定する

Baud Rate (ボーレート) : 9600bps*
Data length (データ長) : 8bit
Parity bit (パリティビット) : なし
Stop bit (ストップビット) : 1bit
Flow control (フロー制御) : なし

* 工場出荷時の数値です。変更してある場合は、その数値に合わせて設定してください。

3 “PJS11234” と入力し「Enter」
キーを押す

4 “OK” と表示されたら、10秒以内に
“PJS25678” と入力し「Enter」
キーを押す

5 “OK” と表示されたら、「Enter」キー
を押す

6 “User Name:” と表示されるので、
ユーザー名を入力し「Enter」キーを
押す

• ユーザー名が未設定の場合は「Enter」キーのみを押します。

7 “Password:” と表示されるので、
パスワードを入力し「Enter」キーを
押す

• パスワードが未設定の場合は「Enter」キーのみを押します。

8 “setup” と入力し「Enter」キーを
押す

SETUP MENUが表示されます。

▼ SETUP MENU 画面

```
-----SETUP MENU-----  
[1]IP Address      [2]Subnet Mask    [3]Default Gateway  
[4]User Name       [5>Password  
[6]RS-232C Baud Rate [7]Projector Name  
[A]Advanced Setup  [D]Disconnect All  
[V]View All Setting [S]Save & Quit    [Q]Quit Unchanged  
  
setup>
```

メモ

- ユーザー名、パスワードは初期設定では設定されていません。
- 手順6、7でユーザー名またはパスワードを3回間違えると、SETUP MENUは終了されます。

RS-232CまたはTelnet経由で本機を設定する

Telnet 経由で接続する場合

1 Windowsのデスクトップから【スタート】ボタンをクリックし【ファイル名を指定して実行(R)】をクリックする

2 「名前(O):」に“telnet 192.168.150.2”と入力する（本機のIPアドレスが192.168.150.2の場合）

3 【OK】ボタンをクリックする

4 “User Name:”と表示されるので、ユーザー名を入力し「Enter」キーを押す

- ユーザー名が未設定の場合は「Enter」キーのみを押します。

5 “Password:”と表示されるので、パスワードを入力し「Enter」キーを押す

- パスワードが未設定の場合は「Enter」キーのみを押します。

6 “setup”と入力し「Enter」キーを押す

- SETUP MENUが表示されます。

▼ SETUP MENU 画面

```
-----SETUP MENU-----
[1]IP Address      [2]Subnet Mask    [3]Default Gateway
[4]User Name      [5>Password
[6]RS-232C Baud Rate [7]Projector Name
[A]Advanced Setup [D]Disconnect All
[V]View All Setting [S]Save & Quit    [Q]Quit Unchanged

setup>
```

メモ

- IPアドレスを変更してある場合は、手順2において変更後のIPアドレスを入力してください。
- ユーザー名、パスワードは初期設定では設定されていません。
- 手順4、5でユーザー名またはパスワードを3回間違えると、接続は終了されます。

RS-232CまたはTelnet経由で本機を設定する

設定メニュー画面(メインメニュー)

▼ SETUP MENU 画面

```
-----SETUP MENU-----
[1]IP Address      [2]Subnet Mask    [3]Default Gateway
[4]User Name       [5>Password
[6]RS-232C Baud Rate [7]Projector Name [D]Disconnect All
[A]Advanced Setup   [V]View All Setting [S]Save & Quit [Q]Quit Unchanged
setup>
```

- [1] IP Address (初期設定値:192.168.150.2)
本機のIPアドレスを設定します。(33ページ)
- [2] Subnet Mask (初期設定値:255.255.255.0)
本機のサブネットマスクを設定します。(33ページ)
- [3] Default Gateway (初期設定値:設定されていません)
本機のデフォルトゲートウェイを設定します。
(33ページ)
- [4] User Name (初期設定値:設定されていません)
ユーザー名を設定することにより、セキュリティ保護を行います。(34ページ)
- [5] Password (初期設定値:設定されていません)
パスワードを設定することにより、セキュリティ保護を行います。(34ページ)
- [6] RS-232C Baud Rate (初期設定値:9600 bps)
本機のRS-232C 入出力端子のボーレートを設定します。(34ページ)
- [7] Projector Name (初期設定値:XG-PH50X)
本機に名前をつけることができます。(34ページ)
- [A] Advanced Setup
上級者向けのメニューに移動します。(35ページ)
- [D] Disconnect All
全ての接続を切断します。(35ページ)
- [V] View All Setting
全ての設定値を表示します。(31ページ)
上級者向けのメニューでも使用できます。
- [S] Save & Quit
設定値を保存して、メニューを終了します。
(32ページ)
- [Q] Quit Unchanged
設定値を保存せず、メニューを終了します。
(32ページ)

上級者向けメニュー画面

▼ ADVANCED SETUP MENU 画面

```
***** ADVANCED SETUP MENU *****
[1]Auto Logout Time [2]Data Port
[5]Network Ping Test
[6]Accept IP Addr(1) [7]Accept IP Addr(2) [8]Accept IP Addr(3)
[9]Accept All IP Addr [0]Search Port

[!]Restore Default Setting
[Q]Return to Main Menu

advanced>
```

- [1] Auto Logout Time (初期設定値:5分)
本機が自動的にネットワーク接続を切断するまでの時間を設定します。(35ページ)
- [2] Data Port (初期設定値:10002)
データ通信用のTCPポート番号を設定します。
(35ページ)
- [5] Network Ping Test
本機とコンピュータなどとのネットワーク接続が正常に行われているかを確認することができます。
(36ページ)
- [6] Accept IP Addr(1)
[7] Accept IP Addr(2)
[8] Accept IP Addr(3)
[9] Accept All IP Addr
セキュリティの向上を図るために、本機に接続を許可するIPアドレスを3つまで設定することができます。設定したIPアドレスは、[9]Accept All IP Addrによって解除することができます。(36ページ)
- [0] Search Port (初期設定値:5006)
本機を検索するとき、使用するポート番号を設定します。(37ページ)
- [!] Restore Default Setting
メニューで設定可能な設定値を、全て出荷初期状態に戻します。(37ページ)
- [Q] Return to Main Menu
メインの設定メニューに戻ります。(37ページ)

RS-232CまたはTelnet経由で本機を制御する

SETUP MENU画面で、選択したい項目の番号または記号を入力します。設定する場合は、設定したい内容を入力します。設定は1項目ずつ行い、最後に保存します。

設定内容一覧を見る

([V]View All Setting)

▼ SETUP MENU 画面

```
-----SETUP MENU-----
[1]IP Address      [2]Subnet Mask  [3]Default Gateway
[4]User Name      [5>Password
[6]RS-232C Baud Rate [7]Projector Name
[A]Advanced Setup [D]Disconnect All
[V]View All Setting [S]Save & Quit  [Q]Quit Unchanged

setup>v
Model Name       : XG-PH50X
Projector Name   : XG-PH50X
MAC Address      : 08:00:1f:00:00:00
IP Address       : 192.168.150.2
Subnet Mask      : 255.255.255.0
Default Gateway  : Not Used
RS-232 Baud Rate : 9600 bps
Password         : Not Required
***** (Advanced Status) *****
Data Port        : 10002
Accept IP Address : Accept All
Auto Logout Time : 5 minutes
Search Port      : 5006
```

- ① “v”を入力し「Enter」キーを押す
全ての設定値(*)が表示されます。

項目を設定する

(例) IP Addressを設定する場合

(192.168.150.2から192.168.150.3に変更)

▼ SETUP MENU 画面

```
-----SETUP MENU-----
[1]IP Address      [2]Subnet Mask  [3]Default Gateway
[4]User Name      [5>Password
[6]RS-232C Baud Rate [7]Projector Name
[A]Advanced Setup [D]Disconnect All
[V]View All Setting [S]Save & Quit  [Q]Quit Unchanged

setup>1
IP Address       : 192.168.150.2
Please Enter     : 192.168.150.3
(change)  -> 192.168.150.3

-----SETUP MENU-----
[1]IP Address      [2]Subnet Mask  [3]Default Gateway
[4]User Name      [5>Password
[6]RS-232C Baud Rate [7]Projector Name
[A]Advanced Setup [D]Disconnect All
[V]View All Setting [S]Save & Quit  [Q]Quit Unchanged

setup>v
Model Name       : XG-PH50X
Projector Name   : XG-PH50X
MAC Address      : 08:00:1f:00:00:00
IP Address       : 192.168.150.3
Subnet Mask      : 255.255.255.0
Default Gateway  : Not Used
RS-232C Baud Rate : 9600 bps
Password         : Not Required
***** (Advanced Status) *****
Data Port        : 10002
Accept IP Address : Accept All
Busy Reply       : ERR+<CR> code
Input Hold Time  : 1000 milliseconds
Auto Logout Time : 5 minutes
Search Port      : 5006
```

- ① “1” (設定したい項目の番号)を入力し、「Enter」キーを押す
現在のIPアドレス(*1)が表示されます。
- ② 設定したいIPアドレスを入力し、「Enter」キーを押す
変更後のIPアドレス(*2)が表示されます。
- ③ “v”を入力後「Enter」キーを押し、設定内容一覧を確認する
IPアドレス(*3)が変更されています。

メモ

- 設定内容一覧の確認は省略することができます。
- 設定内容は、保存するまで有効になりません。(32ページ)
- 無効な数値を入力した場合は、“Parameter Error!”と表示され再度入力を促します。

RS-232CまたはTelnet経由で本機を制御する

設定を保存して終了する

([S]Save & Quit)

設定値を保存して、メニューを終了します。

▼ SETUP MENU 画面

```
-----SETUP MENU-----
[1]IP Address      [2]Subnet Mask  [3]Default Gateway
[4]User Name      [5]Password
[6]RS-232C Baud Rate [7]Projector Name
[A]Advanced Setup [D]Disconnect All
[V]View All Setting [S]Save & Quit  [Q]Quit Unchanged

setup>s
All Connection will be disconnect.
Continue(y/n)? y
Apply New setting...Done.
```

- ① “s”を入力し、「Enter」キーを押す
- ② “y”を入力し、「Enter」キーを押す

設定を保存せずに終了する

([Q]Quit Unchanged)

設定値を保存せず、メニューを終了します。

▼ SETUP MENU 画面

```
-----SETUP MENU-----
[1]IP Address      [2]Subnet Mask  [3]Default Gateway
[4]User Name      [5]Password
[6]RS-232C Baud Rate [7]Projector Name
[A]Advanced Setup [D]Disconnect All
[V]View All Setting [S]Save & Quit  [Q]Quit Unchanged

setup>q
Quit Without Saving(y/n)? y
Setting Unchanged.
```

- ① “q”を入力し、「Enter」キーを押す
- ② “y”を入力し、「Enter」キーを押す

RS-232CまたはTelnet経由で本機を制御する

各項目の設定手順を説明します。基本手順については31ページの「項目を設定する」を参照してください。

IPアドレスの設定

([1]IP Address)

本機のIPアドレスを設定します。

```
setup>1
IP Address      :192.168.150.2
Please Enter    :192.168.150.3
(change)  -> 192.168.150.3 *
```

- ① “1”を入力し、「Enter」キーを押す
- ② 設定したい数値を入力し、「Enter」キーを押す
変更後のIPアドレス(*)が表示されます。

サブネットマスクの設定

([2]Subnet Mask)

本機のサブネットマスクを設定します。

```
setup>2
Subnet Mask    :255.255.255.0
Please Enter    :255.0.0.0
(change)  -> 255.0.0.0 *
```

- ① “2”を入力し、「Enter」キーを押す
- ② 設定したい数値を入力し、「Enter」キーを押す
変更後のサブネットマスク(*)が表示されます。

デフォルトゲートウェイの設定

([3]Default Gateway)

本機のデフォルトゲートウェイを設定します。

```
setup>3
note: "0.0.0.0" means "Using no default gateway."
Gateway Address :0.0.0.0
Please Enter    :192.168.150.1
(change)  -> 192.168.150.1 *
```

- ① “3”を入力し、「Enter」キーを押す
- ② 設定したい数値を入力し、「Enter」キーを押す
変更後のゲートウェイアドレス(*)が表示されます。

メモ

- Telnet経由で本機のIPアドレス・サブネットマスク・ゲートウェイ等の設定値を変更している場合、制御用コンピュータのネットワーク設定によっては本機に接続できなくなることがありますのでご注意ください。

RS-232CまたはTelnet経由で本機を制御する

ユーザー名の設定

([4]User Name)

セキュリティ保護のため、ユーザー名を設定します。

```
setup>4 ①
User Name :
(Please Enter : XG-PH50X) ②
(change) --> XG-PH50X *
```

- ① “4”を入力し、「Enter」キーを押す
- ② ユーザー名を入力し、「Enter」キーを押す
設定したユーザー名(*)が表示されます。

メモ

- ユーザー名は英数字半角8文字まで設定できます。
- 入力可能な文字は、次の通りです。
a-z、A-Z、0-9、-、_
- 初期設定状態ではユーザー名は設定されていません。

パスワードの設定

([5]Password)

セキュリティ保護のため、パスワードを設定します。

```
setup>5 ①
Password :
(Please Enter : sharpp) ②
(change) --> sharpp *
```

- ① “5”を入力し、「Enter」キーを押す
- ② パスワードを入力し、「Enter」キーを押す
設定したパスワード(*)が表示されます。

メモ

- パスワードは英数字半角8文字まで設定できます。
- 入力可能な文字は、次の通りです。
a-z、A-Z、0-9、-、_
- 初期設定状態ではパスワードは設定されていません。

RS-232Cボーレートの設定

([6]RS-232C Baud Rate)

本機のRS-232C入出力端子のボーレートを設定します。

```
setup>6 ①
note: It sets both RS-232C (COMPUTER) and RS-232C (PROJECTOR).
0 ... 9600 bps
1 ... 38400 bps
2 ... 115200 bps
(Baud Rate Select[0,1,2]:2) ②
RS-232C Baud Rate : 115200 bps *
```

- ① “6”を入力し、「Enter」キーを押す
- ② ボーレートの番号(“0”、“1”または“2”)を入力し、「Enter」キーを押す
設定したボーレート(*)が表示されます。

メモ

- コンピュータのRS-232C端子と本機のRS-232C端子のボーレートは同じ値に設定してください。

プロジェクター名の設定

([7]Projector Name)

本機に名前をつけることができます。

```
setup>7 ①
Projector Name : XG-PH50X
(Please Enter : MY XG-PH50X) ②
(change) --> MY XG-PH50X *
```

- ① “7”を入力し、「Enter」キーを押す
- ② プロジェクター名を入力し、「Enter」キーを押す
設定したプロジェクター名(*)が表示されます。

メモ

- プロジェクター名は英数字半角12文字まで設定できます。
- 入力可能な文字は、次の通りです。
a-z、A-Z、0-9、-、_、(、)、(スペース)
(a-zを入力した場合、A-Zに自動的に変換されます。)
- RS-232Cコマンド「PJN0」「PJN1」「PJN2」「PJN3」で確認・設定できるプロジェクター名と同じものです。

RS-232CまたはTelnet経由で本機を制御する

全ての接続を切断する

([D]Disconnect All)

本機が認識している全てのTCP/IPの接続を切断することができます。もし何らかのトラブルによりデータ通信ポートがビジー状態で固定されてしまっても、この切断により強制的に準備状態に戻すことができます。

```
setup>d
Disconnect All Connections(y/n)?y
Now Disconnecting...
```

- ① “d”を入力し、「Enter」キーを押す
- ② “y”を入力し、「Enter」キーを押す

メモ

- Disconnect Allを実行すると、本機へのネットワーク経由の接続は強制終了または切断されます。

上級者向けのメニューに移動する

([A]Advanced Setup)

上級者向けのメニューに移動します。

```
setup>a
***** ADVANCED SETUP MENU *****
[1]Auto Logout Time [2]Data Port
[5]Network Ping Test
[6]Accept IP Addr(1) [7]Accept IP Addr(2) [8]Accept IP Addr(3)
[9]Accept All IP Addr [0]Search Port

[!]Restore Default Setting
[Q]Return to Main Menu

advanced>
```

- ① “a”を入力し、「Enter」キーを押す

自動ログアウト時間の設定

(ADVANCED[1]Auto Logout Time)

ネットワーク経由で接続中、一定時間以上何も入力がないと自動ログアウト機能により自動的にネットワーク接続を切断します。自動で切断するまでの時間を、分単位で設定できます。(1~65535分)

```
advanced>1
Valid range : 0 to 65535 (minute)
note: if you enter "0", auto logout function will be disable.
Auto Logout Time : 5
Please Enter :15
(change) -> 15 *
```

- ① “1”を入力し、「Enter」キーを押す
- ② 数値を入力し、「Enter」キーを押す
設定した数値(*)が表示されます。

メモ

- 設定数値を0にすると、自動ログアウト機能は無効になります。
- 無効な数値を入力すると、エラーメッセージ (“Parameter Error!”)が表示され、ADVANCED SETUP MENU 画面に戻ります。

データポート番号の設定

(ADVANCED[2]Data Port)

データ通信のTCPポート番号を設定します。
1025~65535の間で設定できます。

```
advanced>2
Valid range :1025 to 65535
Data Port :10002
Please Enter :10005
(change) -> 10005 *
```

- ① “2”を入力し、「Enter」キーを押す
- ② 数値を入力し、「Enter」キーを押す
設定した数値(*)が表示されます。

メモ

- 必要に応じて設定してください。通常は初期設定状態のままお使いください。

RS-232CまたはTelnet経由で本機を制御する

ネットワークピングテストを行う (ADVANCED[5]Network Ping Test)

本機とコンピュータなどのネットワーク接続が正常に行われているかを確認することができます。

```
advanced>5 ①
Ping dest IP addr :192.168.150.1
Please Enter :192.168.150.152 ②
(change) -> 192.168.150.152 *1
32 bytes from 192.168.150.152: icmp_seq = 1, time = 0 ms
32 bytes from 192.168.150.152: icmp_seq = 2, time = 0 ms *2
32 bytes from 192.168.150.152: icmp_seq = 3, time = 0 ms
32 bytes from 192.168.150.152: icmp_seq = 4, time = 0 ms
```

- ① “5”を入力し、「Enter」キーを押す
- ② テストする機器のIPアドレスを入力し、「Enter」キーを押す
入力したIPアドレス(*1)が表示されます。
テスト結果(*2)が表示されます。

メモ

- IPアドレスを入力せずに「Enter」キーのみを押すと、前回使用したPing destination IP addressが入力されます。
- 接続に異常があった場合、5秒間リトライした後“Error: No answer”と表示されます。この場合は本機およびコンピュータの設定を確認し、ネットワーク管理者にご相談ください。

許可するIPアドレスの設定

(ADVANCED[6]Accept IP Addr(1) - [8]Accept IP Addr(3))

セキュリティ保護のため、本機に接続できるIPアドレスを制限することができます。本機に接続を許可するIPアドレスは3つまで設定できます。

```
advanced>6 ①
Accept IP Addr(1) : 0.0.0.0
Please Enter : 192.168.150.152 ②
(change) -> 192.168.150.152 *
```

- ① “6”、“7”または“8”を入力し、「Enter」キーを押す
- ② 接続するIPアドレスを入力し、「Enter」キーを押す
設定したIPアドレス(*)が表示されます。

メモ

- 設定されているAccept IP Addressを無効にするには、“0.0.0.0”を入力してください。
- Accept IP Addrが1つ以上設定されている場合、未設定のIPアドレスからの接続は、一切許可されません。解除するときは、[9]Accept All IP Addrを選択してください。

全てのIPアドレスを許可する

(ADVANCED[9]Accept All IP Addr)

Accept IP Addrで設定したIPアドレスを解除します。

```
advanced>9 ①
Accept All IP Addresses(y/n)? y ②
```

- ① “9”を入力し、「Enter」キーを押す
- ② “y”を入力し、「Enter」キーを押す

メモ

- “y”を入力した時点で、Accept IP Addr(1)-(3)の数値は“0.0.0.0”にリセットされます。
- “n”を入力すると、設定は変更されません。

RS-232CまたはTelnet経由で本機を制御する

検索用ポート番号の設定 (ADVANCED[0]Search Port)

ネットワーク側から本機を検索する際に、使用するポート番号を設定します。

```
advanced>0
Please Enter Port Number for Search from Computer.
Valid range      : 1025 to 65535
Search Port      : 5006
Please Enter      : 5004
(change)         -> 5004 *
```

- ① “0”を入力し、「Enter」キーを押す
- ② ポート番号を入力し、「Enter」キーを押す
入力した数値(*)が表示されます。

メモ

- 必要に応じて設定してください。通常は初期設定状態のままでお使いください。

初期設定値に戻す (ADVANCED[!] Restore Default Setting)

メニューで設定可能な設定値を、全て工場出荷時設定に戻します。

```
advanced>!
Restore All Setting to Default(y/n)? y
— User Setting Initialized —
```

- ① “!”を入力し、「Enter」キーを押す
- ② “y”を入力し、「Enter」キーを押す

メモ

- Telnet経由で本機を初期値へ戻したときは、IPアドレス・サブネットマスク・ゲートウェイなどの設定値が初期値へ戻るため、制御用コンピュータのネットワーク設定によっては本機に接続できなくなることがありますのでご注意ください。

メインの設定メニューに戻る (ADVANCED[q]Return to Main Menu)

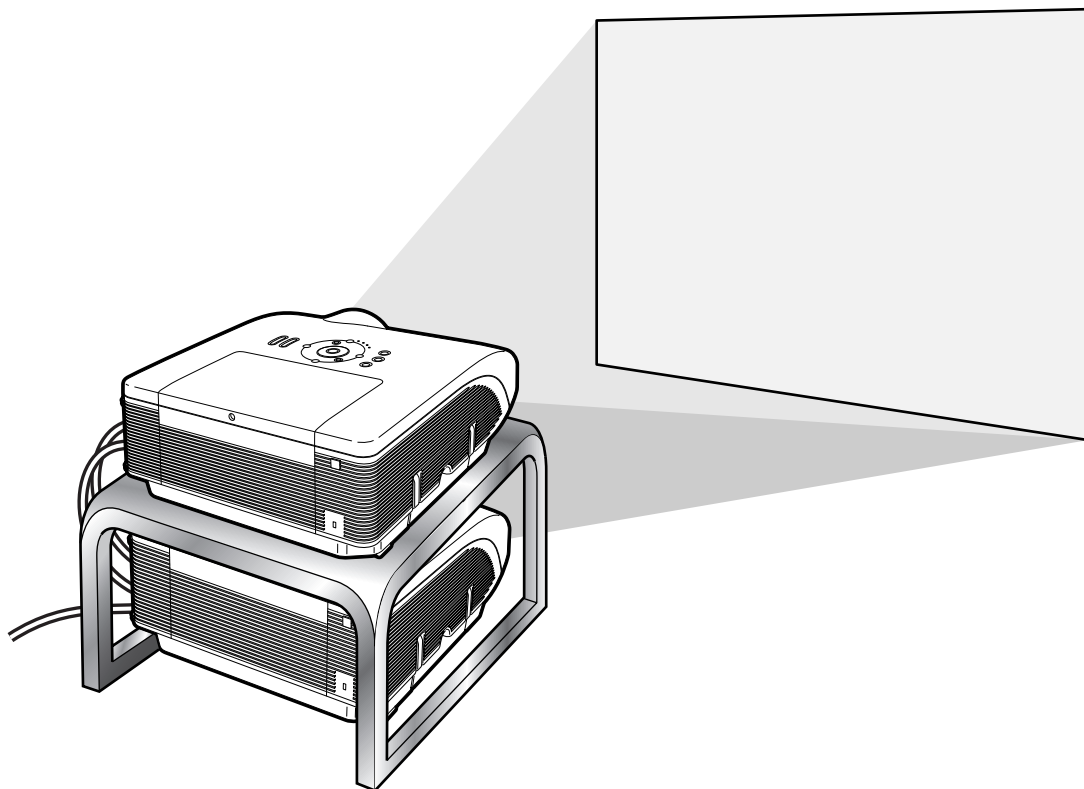
メインの設定メニュー画面に戻ります。

```
advanced>q
-----SETUP MENU-----
[1]IP Address      [2]Subnet Mask    [3]Default Gateway
[4]User Name       [5]Password
[6]RS-232C Baud Rate [7]Projector Name
[A]Advanced Setup  [D]Disconnect All
[V]View All Setting [S]Save & Quit     [Q]Quit Unchanged
setup>
```

- ① “q”を入力し、「Enter」キーを押す
SETUP MENU 画面に戻ります。

スタック投映

2台のプロジェクターを使用して同じ画像を同時に投映することで、投映画像の明るさが2倍になります。



📖 お知らせ

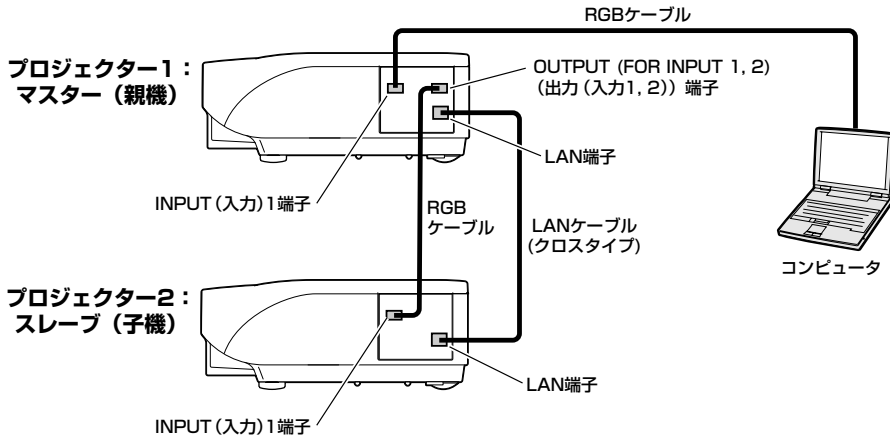
- スタック投映を行う際に、1台をマスター(親機)、もう1台をスレーブ(子機)として割り当て、2台のプロジェクター間を市販のLANケーブル(UTPケーブル、カテゴリー5、クロスタイプ)で接続することで、マスターとスレーブの2台のプロジェクターを1つのリモコンで一括コントロールすることができます。
- 一括コントロールできるリモコンの操作ボタンは次のボタンです。

・ON(電源入)	・AUTO SYNC(自動同期調整)
・STANDBY(スタンバイ)	・RESIZE(画面サイズ切換)
・BLACK SCREEN(ブラックスクリーン)	・PICTURE MODE(映像モード)
・INPUT(入力切換)1-5	・BREAK TIMER(休憩時間)
・MUTE(ミュート)	・FREEZE(静止画)
・VOLUME(音量)	
- スレーブ(子機)に設定したプロジェクターは、リモコンで操作が行えません。
スレーブ(子機)に設定したプロジェクターをリモコンで操作したいときは、市販のφ3.5ミニジャックケーブルを使ってワイヤード接続してください。
- 本体の操作ボタンは、マスター(親機)、スレーブ(子機)それぞれの操作ボタンとして働きます。

スタック投映の設置手順

基本編

コンピュータの画像を2台のプロジェクターを使用してスタック投映する場合の設置手順例です。



1 プロジェクター1の「スタック設定」を「マスター」に設定する

(プロジェクターの取扱説明書 84 ページ参照)

2 プロジェクター2の「スタック設定」を「スレーブ」に設定する

(プロジェクターの取扱説明書 84 ページ参照)

3 プロジェクター1および2で「簡単スタック」を実行する

(プロジェクターの取扱説明書 85 ページ参照)

4 「入力設定」を下記のように設定する (プロジェクターの取扱説明書 86 ページ参照)

プロジェクター1

プロジェクター2

マスター	
入力設定	
入力1	ON
入力2	OFF
入力3	OFF
入力4	OFF
入力5	OFF

スレーブ	
入力設定	
入力1	ON
入力2	OFF
入力3	OFF
入力4	OFF
入力5	OFF

5 プロジェクターの電源を切る

スタック投映

6 RGBケーブルを使用して、プロジェクター1のINPUT (入力) 1端子とコンピュータのRGB出力端子を接続する
(プロジェクターの取扱説明書 29 ページ参照)

7 RGBケーブルを使用して、プロジェクター1のOUTPUT (FOR INPUT 1, 2) (出力(入力1, 2))端子とプロジェクター2のINPUT (入力) 1端子を接続する
(プロジェクターの取扱説明書 38 ページ参照)

メモ

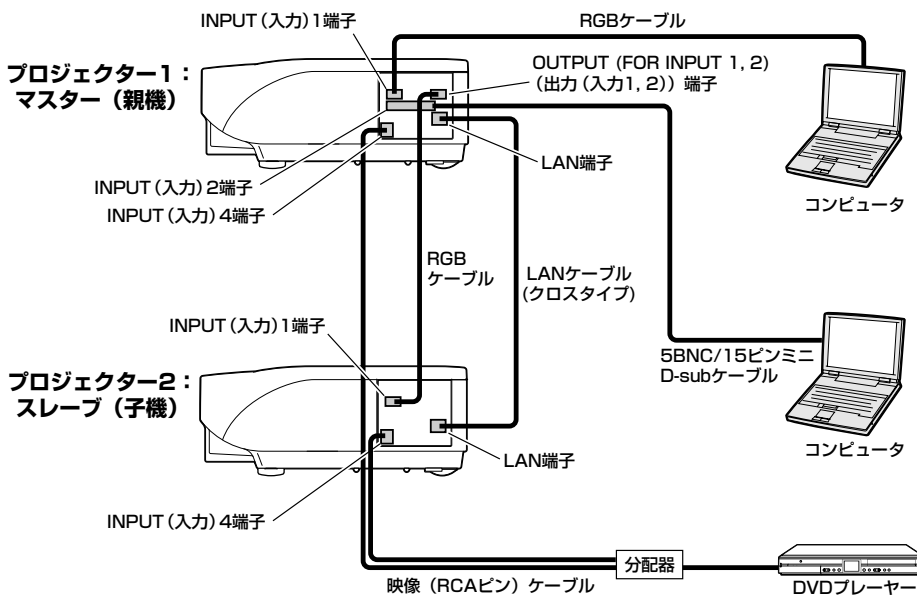
プロジェクター2にRGBケーブルを接続する際は、プロジェクター1で使用した入力端子と同じ番号の入力端子(この例では、INPUT (入力) 1端子)へ接続してください。

8 市販のLANケーブル (UTPケーブル、カテゴリー5、クロスタイプ) を使用して、プロジェクター1のLAN端子と、プロジェクター2のLAN端子を接続する

9 プロジェクターの電源を入れ、続いてコンピュータの電源を入れる

応用編

複数の映像ソースを入力する際は、下記例を参考に入力設定を行ってください。



プロジェクター1

マスター	
入力設定	
入力1	ON
入力2	ON
入力3	OFF
入力4	ON
入力5	OFF

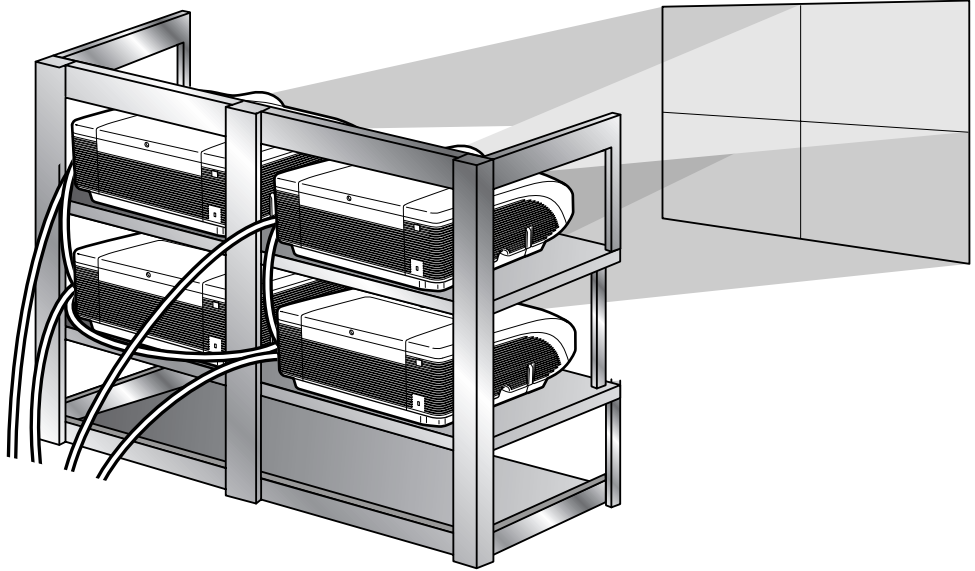
プロジェクター2

スレーブ	
入力設定	
入力1	ON
入力2	OFF
入力3	OFF
入力4	ON
入力5	OFF

ビデオウォール投映

従来、ビデオウォールを構築するためには、高価な専用画像処理装置が必要でした。

本機は、簡易ビデオウォール機能を搭載しており、高価な装置を追加購入することなしにビデオウォールを構築できます。



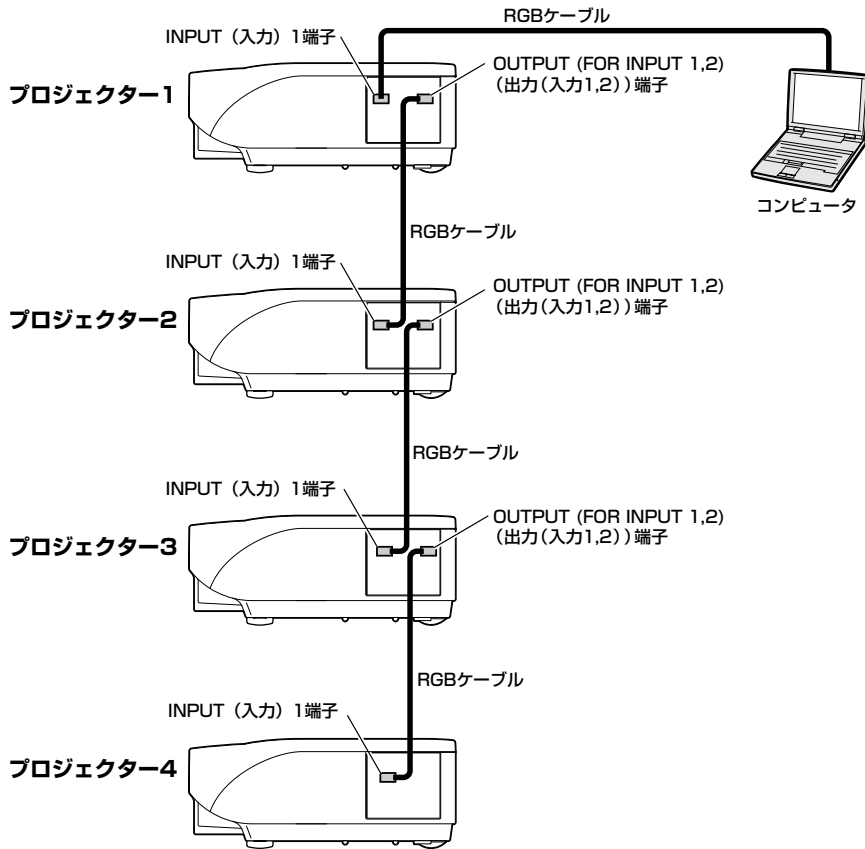
お知らせ

- 設定にあたり、Internet Explorer (バージョン5.0以降) を使用します。あらかじめコンピュータへインストールを行ってください。
- ビデオウォール投映が可能な解像度は、SXGAまでです。
- 映像信号をRGBケーブルやRCAケーブルでデジーチェーン (連鎖) 接続された複数のプロジェクターを経由して入力すると、画質が劣化する可能性があります。

ビデオウォール投映

ビデオウォール投映の設置手順 基本編

4台のプロジェクターを使用した2×2のビデオウォールを構築する際の設置手順例です。



1 4台のうちの1台のプロジェクターに対し、Internet Explorerを使用してパソコンからアクセスする

(くわしくは23ページの「Internet Explorer バージョン5.0以降でコントロールする」をご覧ください。)

2 「メニュー」の「ビデオウォール」をクリックする

- ビデオウォール設定画面が表示されます。

3 「分割数」で「2×2」を選ぶ

4 割り当てる位置の「割り当て」ボタンをクリックする

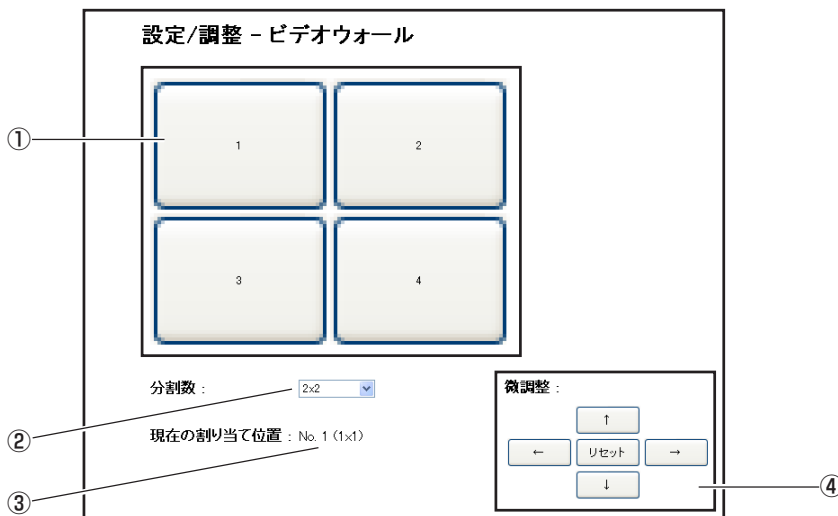
- 本機がビデオウォールの構成部分として割り当てられます。

メモ

- ここで割り当てる位置とプロジェクターの実際の位置との関係については、44ページの「ビデオウォール設定によるプロジェクター画像の割り当て」を参照してください。

5 残りの3台のプロジェクターについても1～4の操作を行う

以上の手順でビデオウォールの設定は完了です。全てのプロジェクターへ同一の映像信号を入力すれば、ビデオウォール投映されます。



- ① プロジェクターの割り当て位置を設定します (割り当てボタン)
- ② 分割数を選択します
- ③ 本機の現在のビデオウォールの設定状態を表示します
- ④ 本機の水平および垂直方向の映像位置を調整します

ビデオウォール投映

水平および垂直位置を微調整するには

「↑」「↓」「←」「→」をクリックして映像位置を調整する

ビデオウォールの設定をリセットするには

1 「分割数」で「1x1 (標準)」を選ぶ

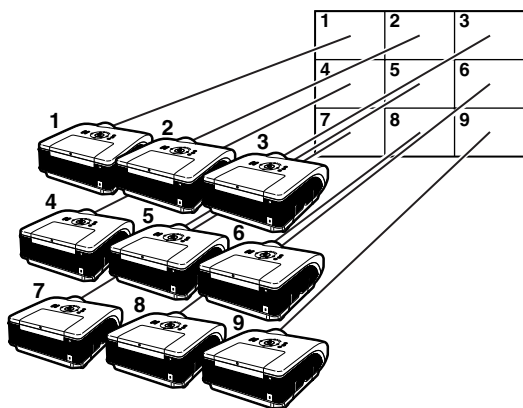
2 「位置の割り当て」で「1」をクリックする

• 本機のビデオウォール設定がリセットされます。

ビデオウォール設定によるプロジェクター画像の割り当て

前方投映時と後方投映時のプロジェクター画面の割り当ては、下に示すとおりです。

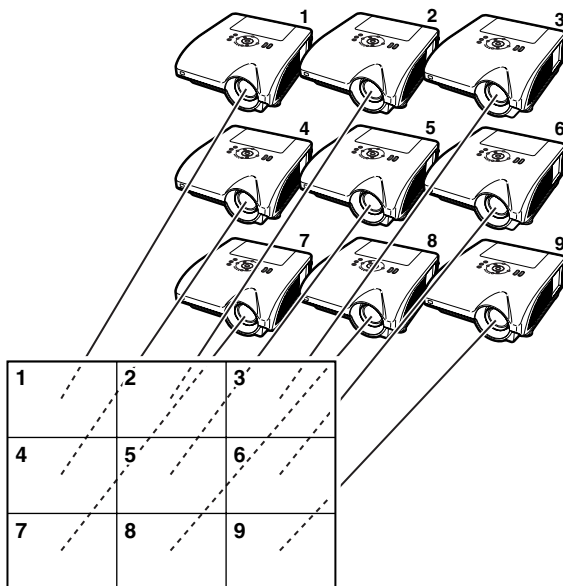
前方投映



1~9がスクリーン上の位置番号に対応します。

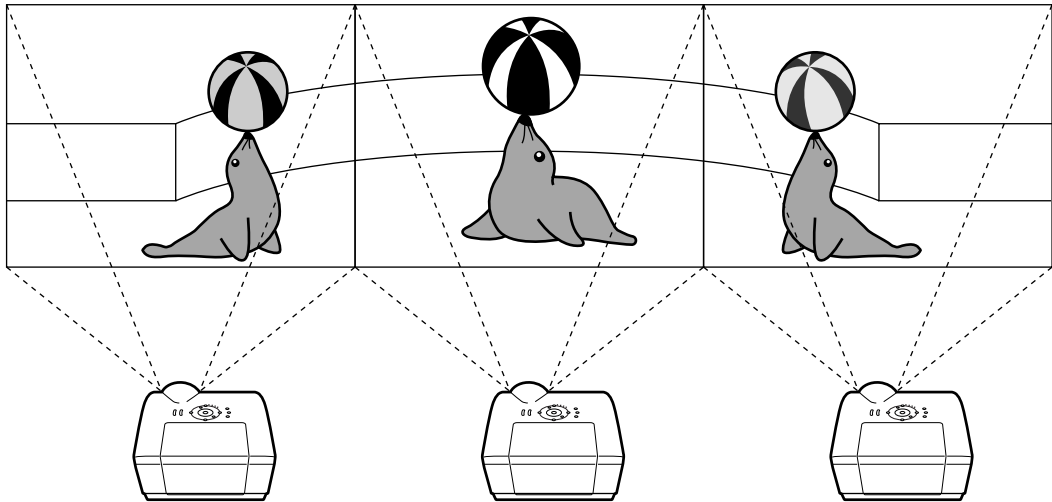
後方投映

1~9がスクリーン上の位置番号に対応します。

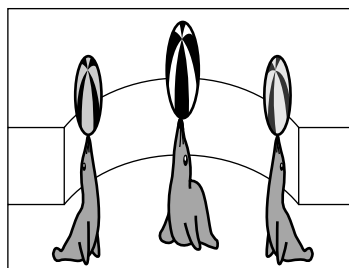


ワイドビデオウォールの設定と注意

「分割数」(43ページ)で、2×1、3×1、4×1、5×1、6×1、7×1、8×1のいずれかを選択すると、ワイドビデオウォールを作ることができます。



上図のように、横一列に3台のプロジェクターを並べて、ワイドビデオウォールを作るには、「分割数」で「3×1」を選択し、「位置の割り当て」を設定したあと、下の図のように編集した映像(横幅を1/3に圧縮した映像)をプロジェクターに入力します。

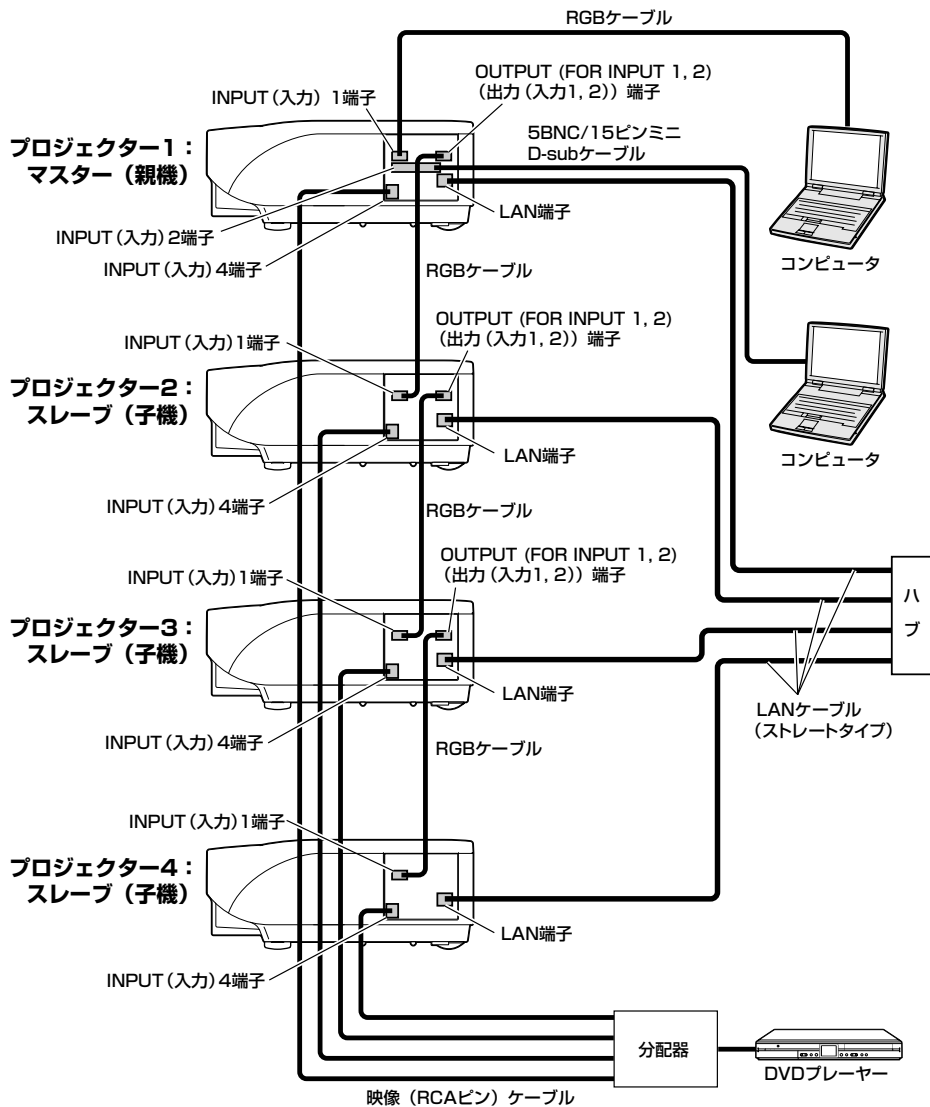


ビデオウォール投映

ビデオウォール投映の設置手順 応用編

ビデオウォール投映する際、スタック設定機能や入力設定機能を併用することにより、1台のリモコンでビデオウォールを一括コントロールすることが可能です。

前述の基本編で構築したビデオウォールへ下図のように映像信号を入力する際の接続手順例を示します。



準備

あらかじめ基本編の設定を行ってから下記接続手順を行ってください。

- プロジェクターにユーザー名とパスワードを設定しているときは、あらかじめ解除しておいてください。ユーザー名とパスワードを設定するときは、マスター（親機）、スレーブ（子機）ともに同じユーザー名、パスワードを設定してください。（25ページ）
- マスター（親機）とスレーブ（子機）のデータポートは同じ番号に設定しておいてください。（26ページ）

お知らせ

- マスターおよびスレーブが使用しているデータポートと同番号のポートを使用してプロジェクターにアクセスするネットワークソフトウェアやネットワーク機器とは、同時に使用しないでください。使用した場合、リモコンでの一括コントロール機能が正常に働かない場合があります。

1 設定用コンピュータのTCP/IP設定を次のように変更する

（くわしくは19ページの「コンピュータのIPアドレスを設定する」をご覧ください。）

- ・ IPアドレス : 192.168.150.2
- ・ サブネットマスク : 255.255.255.0
- ・ デフォルトゲートウェイ : (何も入力しないでください)

メモ

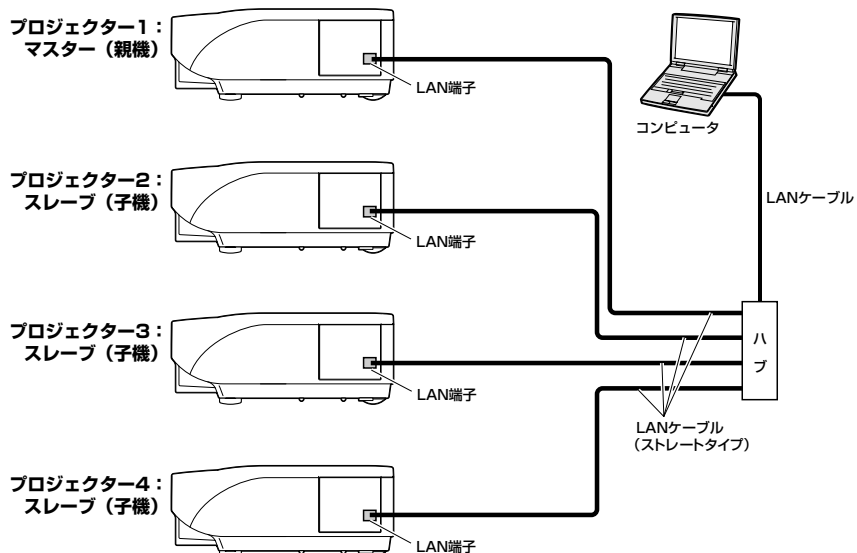
- ここでの設定用コンピュータならびに各プロジェクターのTCP/IP設定例は、機器構成を構築するための一例です。
- 同一ネットワーク内で他のネットワーク機器もご使用になる場合は、各機器のIPアドレスが重複しないように設定するなどの注意が必要です。
- 各設定値について詳しくはネットワーク管理者にご相談ください。

2 各プロジェクターのTCP/IP設定を次のように変更する

（くわしくは21ページの「本機のネットワーク設定をする」をご覧ください。）

- ・ IPアドレス プロジェクター1 : 192.168.150.3
プロジェクター2 : 192.168.150.4
プロジェクター3 : 192.168.150.5
プロジェクター4 : 192.168.150.6
- ・ サブネットマスク : 255.255.255.0
- ・ デフォルトゲートウェイ : 0.0.0.0

3 各機器を下図のように接続する



ビデオウォール投映

4 すべてのプロジェクターの電源を入れる

5 Internet Explorerを使用してパソコンからプロジェクター1へアクセスする

(くわしくは23ページの「Internet Explorerバージョン5.0以降でコントロールする」をご覧ください。)

6 「メニュー」の「スタック」をクリックする

7 「スタック設定」で「マスター」を選択する

- ・スレーブ用IPアドレス登録画面が表示されます。

8 スレーブ・プロジェクターのIPアドレスをそれぞれ次のように入力する

- ・スレーブ1 : 192.168.150.4
- ・スレーブ2 : 192.168.150.5
- ・スレーブ3 : 192.168.150.6

9 「適用」ボタンをクリックする

10 Internet Explorerを使用してパソコンからプロジェクター2へアクセスする

(くわしくは23ページの「Internet Explorerバージョン5.0以降でコントロールする」をご覧ください。)

11 「メニュー」の「スタック」をクリックする

12 「スタック設定」で「スレーブ」を選択する

設定/調整 - スタック

スタック設定	マスター
スレーブ 1	0 0 0 0 (IPアドレス)
スレーブ 2	0 0 0 0 (IPアドレス)
スレーブ 3	0 0 0 0 (IPアドレス)
スレーブ 4	0 0 0 0 (IPアドレス)
スレーブ 5	0 0 0 0 (IPアドレス)

13 プロジェクター3、4についても手順10～12を行い、「スレーブ」に設定する

14 「入力設定」を右のように設定する
(プロジェクターの取扱説明書86ページ参照)



メモ

- 使用する入力端子はONに設定し、使用しない入力端子はOFFに設定してください。

15 プロジェクターの電源を切る

16 46ページの図に従って、各機器を接続する

17 プロジェクターの電源を入れ、続いて各映像機器の電源を入れる



メモ

- 映像信号をRGBケーブルやRCAケーブルでダイジーチェーン(連鎖)接続された複数のプロジェクターを経由して入力すると、画質が劣化する可能性があります。

プロジェクター1

マスター	
入力設定	
入力1	ON
入力2	ON
入力3	OFF
入力4	ON
入力5	OFF

プロジェクター2～4

スレーブ	
入力設定	
入力1	ON
入力2	OFF
入力3	OFF
入力4	ON
入力5	OFF

困ったときは

本機と通信できない

本機とシリアル接続した場合

- ◀ 本機のRS-232C端子とコンピュータまたは市販のコントローラーが正しく接続されていますか。
- ◀ RS-232Cケーブルには、クロスタイプのものを使っていますか。
- ◀ 本機とコンピュータまたは市販のコントローラーのRS-232Cポート設定が一致していますか。

本機とコンピュータをネットワーク(LAN)接続した場合

- ◀ 本機のLAN端子にケーブル側コネクタがしっかりと挿入されていますか。
- ◀ コンピュータやネットワーク機器(ハブ等)のLANポートにケーブルがしっかりと挿入されていますか。
- ◀ LANケーブルには、カテゴリ5のものを使っていますか。
- ◀ 本機とコンピュータを直接接続した場合：
LANケーブルには、クロスタイプのものを使っていますか。
- ◀ 本機をネットワーク機器(ハブ等)と接続した場合：
LANケーブルには、ストレートタイプのものを使っていますか。
- ◀ 本機とコンピュータ間のネットワーク機器(ハブ等)の電源が入っていますか。

本機とコンピュータのネットワーク設定の確認

- ◀ 本機の以下のネットワーク設定をご確認ください。
 - IPアドレス
本機のIPアドレスがネットワーク上で重複していませんか。
 - サブネットマスク
本機のゲートウェイ設定が“0.0.0.0”(Not Used)の場合、または、本機のゲートウェイ設定とコンピュータのデフォルトゲートウェイ設定が同一の場合：
 - サブネットマスクが、本機とコンピュータで同一になっているをご確認ください。
 - サブネットマスクで示されるIPアドレス部分が、本機とコンピュータで同一になっているをご確認ください。-(例)
本機のIPアドレスが“192.168.150.2”、サブネットマスクが“255.255.255.0”の場合、コンピュータのIPアドレスは“192.168.150.X”(X=3~254)、サブネットマスクは“255.255.255.0”となります。
 - ゲートウェイ
本機のゲートウェイ設定が“0.0.0.0”場合、または、本機のゲートウェイ設定とコンピュータのデフォルトゲートウェイ設定が同一の場合：
 - サブネットマスクが、本機とコンピュータで同一になっているをご確認ください。
 - サブネットマスクで示されるIPアドレス部分が、本機とコンピュータで同一になっているをご確認ください。(例)
本機のIPアドレスが“192.168.150.2”、サブネットマスクが“255.255.255.0”の場合、コンピュータのIPアドレスは“192.168.150.X”(X=3~254)、サブネットマスクは“255.255.255.0”となります。
 - データポート
他のコンピュータなどからデータポートを使用されていませんか。
スタック動作時は、通信用にデータポートを使用します。



メモ

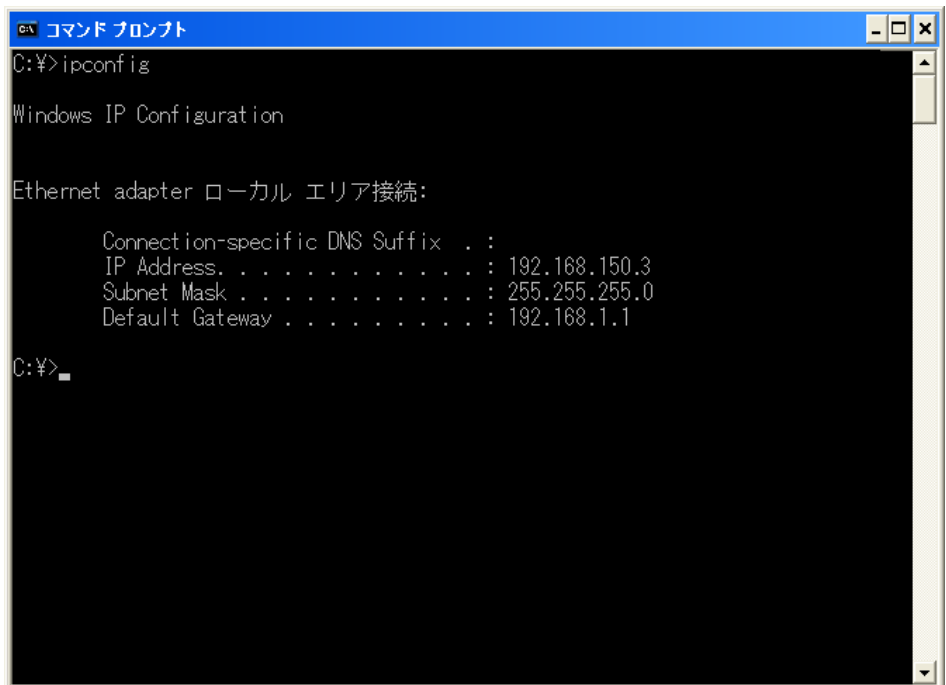
- 本機のネットワーク設定の初期設定値
IPアドレス 192.168.150.2
サブネットマスク 255.255.255.0
ゲートウェイアドレス 0.0.0.0(Not Used)
- 本機のネットワーク設定については**21ページ**を参照してください。

- ◀ コンピュータのネットワーク設定は以下の手順でご確認ください。
1. コマンドプロンプト(MS-DOSプロンプト)を開きます。
 - Windows 98、98SE : 「スタート」→「プログラム」→「MS-DOSプロンプト」の順にクリック。
 - Windows Me : 「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「MS-DOSプロンプト」の順にクリック。
 - Windows 2000 : 「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」の順にクリック。
 - Windows XP : 「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」の順にクリック。
 2. コマンドプロンプト(MS-DOSプロンプト)起動後、「ipconfig」コマンドを入力し、「Enter」キーを押します。

メモ

- コンピュータのネットワーク設定を行った後でも、通信ができないことがあります。その場合はコンピュータを再起動してください。

C:¥>ipconfig[ENTER]



```
コマンド プロンプト
C:¥>ipconfig

Windows IP Configuration

Ethernet adapter ローカル エリア接続:

    Connection-specific DNS Suffix  . : 
    IP Address. . . . .               : 192.168.150.3
    Subnet Mask . . . . .             : 255.255.255.0
    Default Gateway . . . . .         : 192.168.1.1

C:¥>
```

メモ

- ipconfigの使用例
 - C:¥>ipconfig /? ipconfig.exeの使用方法を表示します。
 - C:¥>ipconfig 設定されているIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを表示します。
 - C:¥>ipconfig /all 設定されているTCP/IP関係の設定情報を全て表示します。

困ったときは

3. Windowsの画面に戻るには「exit」と入力し、「Enter」キーを押します。

◀ 「PING」コマンドにより、「TCP/IP」プロトコルが正常に動作していることをご確認ください。またIPアドレスが設定されていることをご確認ください。

1. コマンドプロンプト(MS-DOSプロンプト)を開きます。

- Windows 98、98SE : 「スタート」→「プログラム」→「MS-DOSプロンプト」の順にクリック。
- Windows Me : 「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「MS-DOSプロンプト」の順にクリック。
- Windows 2000 : 「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」の順にクリック。
- Windows XP : 「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」の順にクリック。

2. コマンドプロンプト(MS-DOSプロンプト)起動後、「PING」コマンドを入力します。

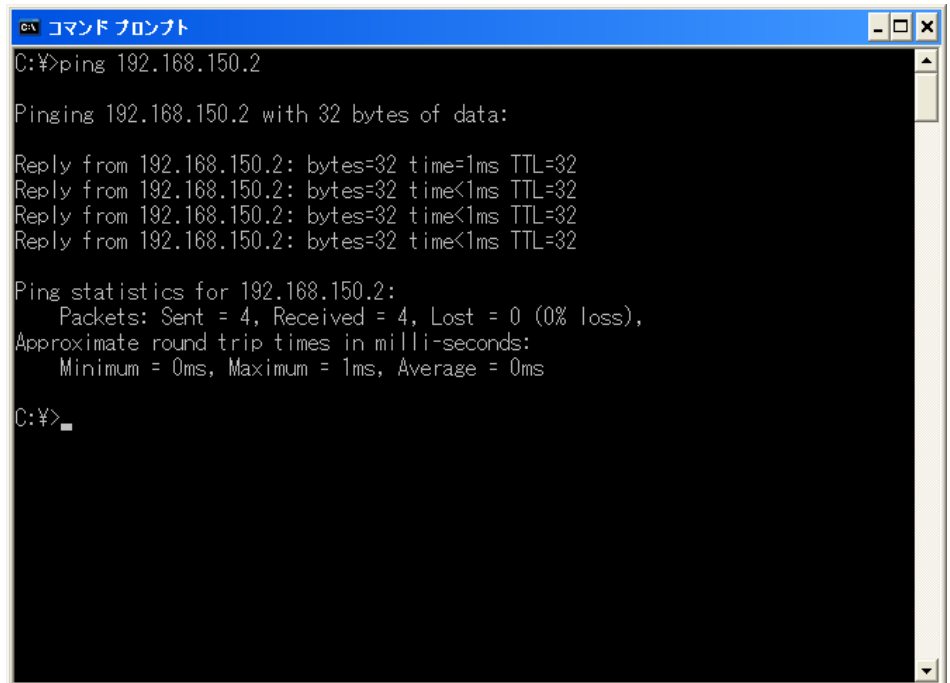
入力例 C:¥>ping XXX.XXX.XXX.XXX

「XXX.XXX.XXX.XXX」には、接続先(本機等)のIPアドレスを入力します。

3. 正しく接続されている場合は、以下のように表示されます。

(OSによって、画面が多少異なることがあります。)

<例> 接続先のIPアドレスが「192.168.150.2」のとき



```
コマンド プロンプト
C:¥>ping 192.168.150.2

Pinging 192.168.150.2 with 32 bytes of data:

Reply from 192.168.150.2: bytes=32 time<1ms TTL=32
Reply from 192.168.150.2: bytes=32 time<1ms TTL=32
Reply from 192.168.150.2: bytes=32 time<1ms TTL=32
Reply from 192.168.150.2: bytes=32 time<1ms TTL=32

Ping statistics for 192.168.150.2:
    Packets: Sent = 4, Received = 4, Lost = 0 (0% loss),
    Approximate round trip times in milli-seconds:
        Minimum = 0ms, Maximum = 1ms, Average = 0ms

C:¥>
```

4. コマンド送信ができないときは「Request time out」と表示されます。

ネットワーク設定を再確認してください。

それでもうまく通信できない場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。

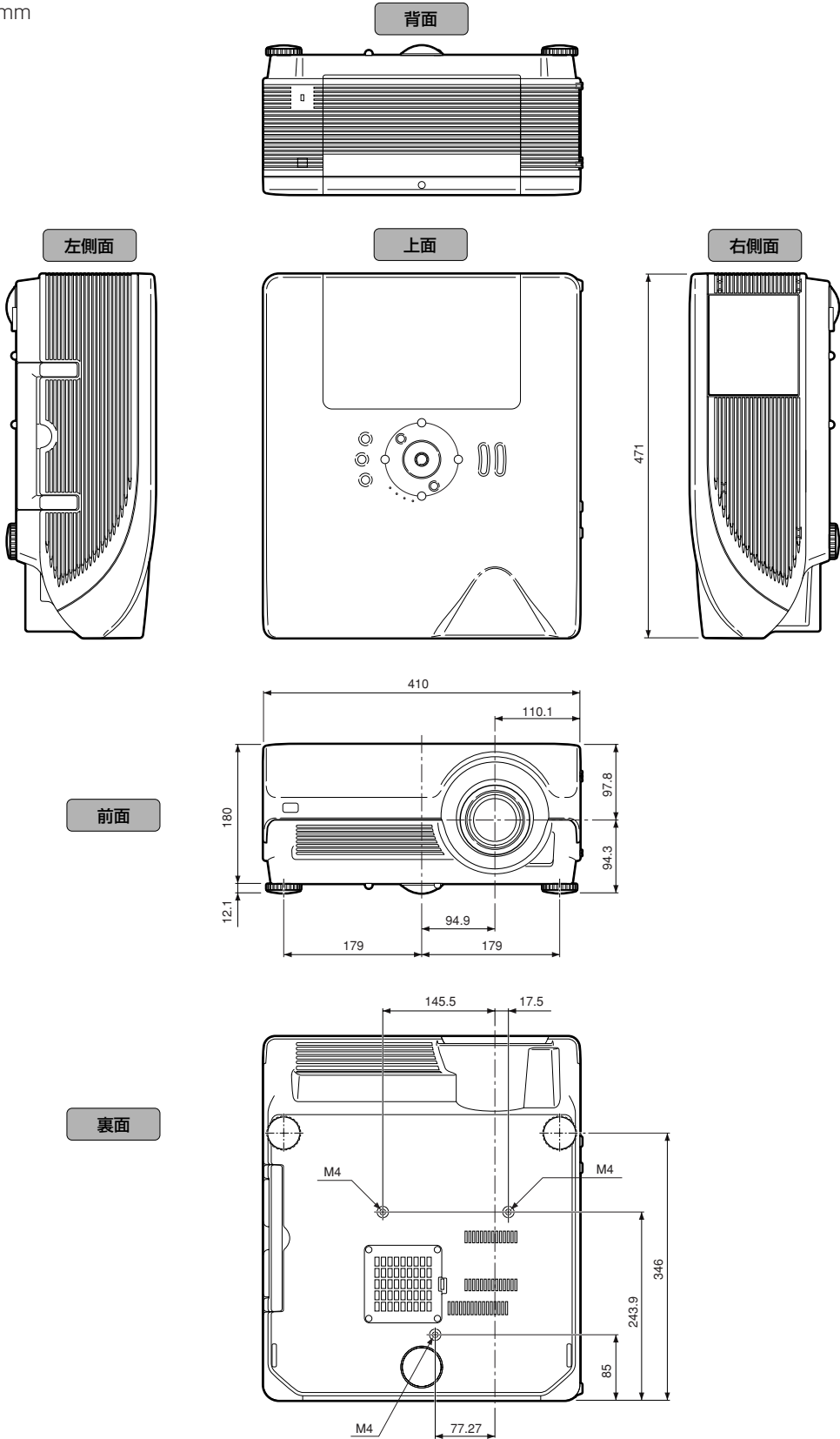
5. Windowsの画面に戻るには「exit」と入力し、「Enter」キーを押します。

ユーザー名やパスワードを忘れてしまい、接続できない

- ◀ 設定内容を初期化してください。(プロジェクターの取扱説明書88ページをご覧ください。)
- ◀ 初期化後、再度設定をしてください。

寸法図

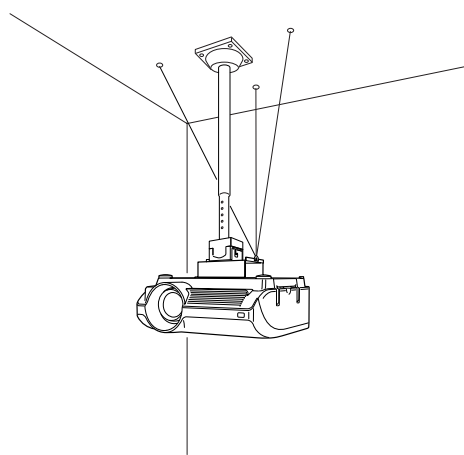
単位：mm



寸法図

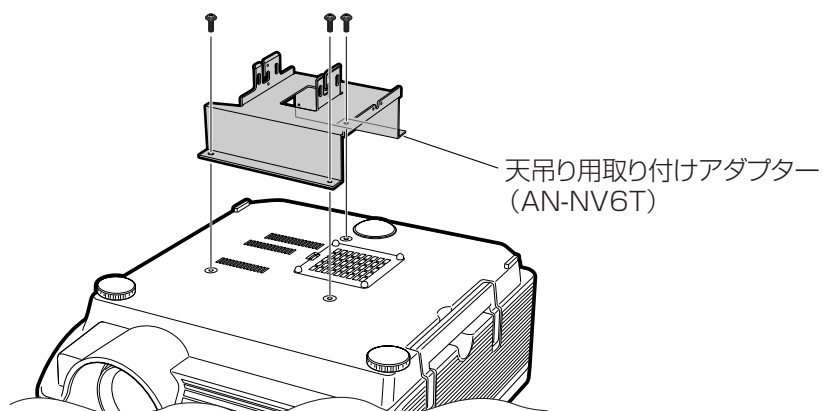
天吊り

プロジェクターを天井に設置するときは、[2ページ](#)の画面下端からレンズセンターまでの距離に合わせて設置位置を決めてください。

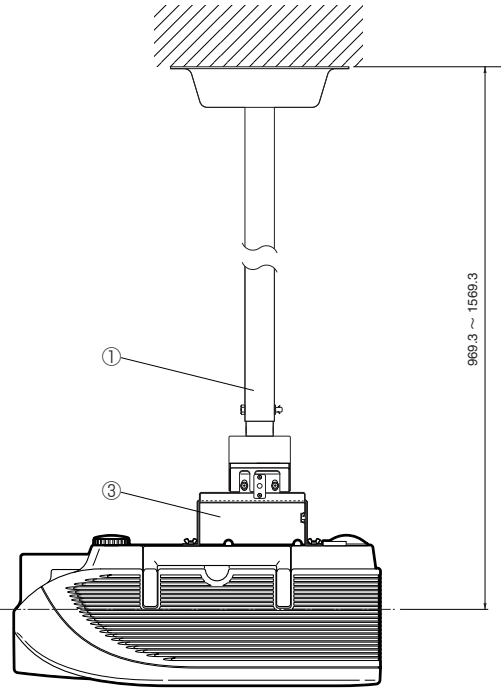


AN-TK201をご使用の際は、上図のようにワイヤー等でゆれ防止されることをおすすめします。

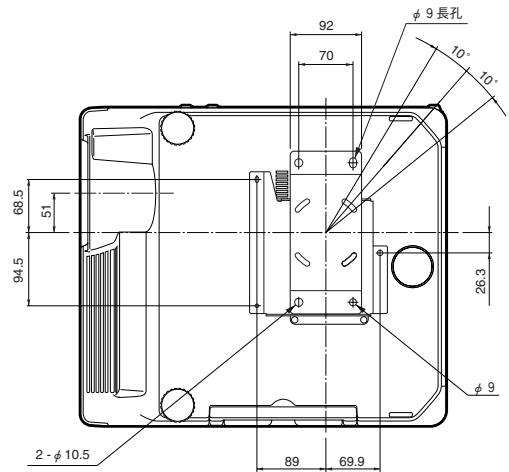
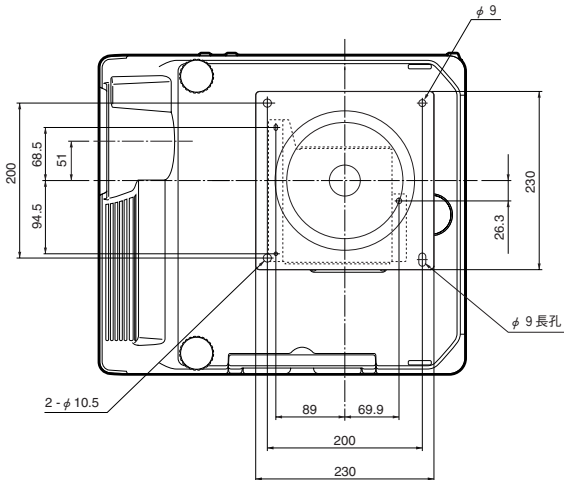
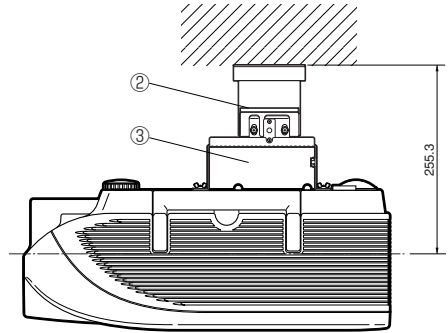
天吊り用取り付けアダプター（別売品）の取り付けかた



寸法図



	品名	型名
①	高天井用取り付けユニット	AN-TK201
②	低天井用取り付けユニット	AN-TK202
③	天吊り用取り付けアダプター	AN-NV6T



● 製品についてのお問い合わせは…

お客様相談センター

東日本相談室 TEL **043-297-4649** FAX **043-299-8280**

西日本相談室 TEL **06-6621-4649** FAX **06-6792-5993**

《受付時間》 月曜～土曜：午前9時～午後6時 日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）

● シャープホームページ

<http://www.sharp.co.jp/>

シャープ株式会社

本社
AVシステム事業本部

〒545-8522
〒329-2193

大阪市阿倍野区長池町22番22号
栃木県矢板市早川町174番地